舞岡公園自然体験施設・文化体験施設併設

令和３年度　活動報告書

令和４年５月１４日

特定非営利活動法人　舞岡・やとひと未来

目　次

頁

1．年間活動予定表「谷戸ごよみ」・・・・・・・・・・・・・・1
2．田んぼ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3．畑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
4．雑木林・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
5．生物･環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
6．楽しく体験・季節の行事その１(農芸)・・・・・・・・11
7．楽しく体験・季節の行事その２(事務局)・・・・・・・12
8．楽しく体験・季節の行事その３(収穫祭・案山子まつり) 13
9．親子自然教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
10．こども谷戸教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
11．谷戸学校（28期生）・・・・・・・・・・・・・・・・・16
12．広 報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
13．舞・小谷戸屋・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
14．生物多様性維持保全活動・・・・・・・・・・・・・・18
15．教育機関･学校の通年･定期体験活動・・・・・・・・・19
16．教育機関以外の交流・体験・研修・・・・・・・・・・27
17．その他の活動（いろいろボランティア）・・・・・・・28
18．組織の運用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
19．満足度調査(CSR活動)・・・・・・・・・・・・・・・・30
20．スタッフの教育・訓練の実施・・・・・・・・・・・・30
21．特記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
＊令和３年度資料集・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～13

令和3(2021)年度年間予定表

谷戸ごよみ

新型コロナウィルス感染拡大防止のためイベントが変更や中止になる場合があります。ご参加前にお問い合わせください。

月	田んぼ	畑	雑木林	自然観察会	楽しく体験	季節の行事
	登録ボランティア中心の作業（未登録の方もどうぞ）			公募のイベント(★:要事前申し込み、無印:当日直接)		
4	種まき 田起し	ごぼう種まき ヒマワリ・コスモス種まき	下草刈り 炭材作り	~~4/25 春の野鳥★~~	4/18 わら細工:亀★	4/1 鯉のぼり・ 五月人形飾りつけ
5	田起し 代かき 苗取り・田植え	里芋種芋植え付け 落花生・ポップコーン・ゴマ・小豆種まき 六条大麦収穫	炭材作り 炭焼き	~~5/23 若葉の雑木林★~~	~~5/3 茶摘み★~~	~~5/5 こども谷戸まつり~~ 5/11 五月人形片付け ~~5/16 まい作品展・春~~ 5/30 田植え体験★
6	苗取り・田植え 田の草取り 畦草刈り	大豆種まき 玉ねぎ・じゃがいも収穫 コンニャク作付け	炭材作り 炭焼き 梢木本伏せ	~~6/12 夜間観察会★~~ ~~6/26 夜間観察会★~~ ~~6/27 水辺の生き物★~~		
7	田の草取り 畦草刈り ネット掛け	草取り 人参種まき ミニトマト収穫	炭焼き 下草刈り	~~7/25 盛夏の谷戸★~~ ~~7/25 夜の里山生き物探検★~~	7/25 夏休み竹細工: 水鉄砲・竹ぽっくり作りと遊び★	7/1～8 七夕飾り 7/17 谷戸肝だめし★ ~~里山の暮らし体験★~~ (日時未定)
8	畦草刈り ネット掛け ヒエ抜き	草取り ポップコーン収穫 大根畝作り・種まき ミニトマト収穫	早朝草刈り 大作戦	~~8/21 夏の夜の灯火観察会★~~ ~~8/22 夏の里山~~	~~8/22 わら細工:~~ ~~わら草履★~~	
9	水抜き・畦草刈り 稲架作り 稲刈り	玉ねぎ・大根・カブ種まき ゴマ収穫 草取り、手入れ	下草刈り	~~9/26 谷戸を観る~~	~~9/26 竹細工:~~ ~~かざぐるま★~~	案山子まつり ~~9/20 お月見会★~~
10	稲刈り 脱穀・ネット収納	さつまいも・人参収穫 かぶ・菜の花種まき こんにゃく収穫	間伐・除伐	10/24 秋の実り		10/3稲刈り体験★
11	脱穀 荒起し	長ねぎ・落花生・里芋 唐辛子・大根・ごぼう・大豆・小豆・コンニャク収穫 玉ねぎ・六条大麦種まき	間伐・除伐 	~~11/28 生き物の冬支度~~	11/14 わら細工: 鍋敷き・リース★	~~11/3 まい作品展・秋~~ ~~11/23 収穫祭~~
12	荒起し 餅つき 	さつまいも種芋保存 漬物用大根収穫・干し 沢庵漬けこみ 麦踏み	間伐・除伐	12/12 野鳥観察入門 	12/11・12 竹細工: ミニ門松★ 12/11・12 わら細工: 正月飾り★	12/3 すす払い 12/10・11 障子張り 12/25 鏡餅作り★ 12/26 大掃除
1	餅つき 堆肥ふるい・切返し 畦・水路補修	畑周辺の整備 荒起し・堆肥すき込み 七草大根・かぶ収穫 麦踏み	間伐・除伐 梢木準備	1/9バードウォッチング★ ~~1/23 冬の谷戸~~	~~1/23 竹細工:和凧作りと凧揚げ★~~	1/5 こども書初め会★ ~~1/8 七草がゆ~~ 1/11 まゆ玉作り 1/16 さいと焼き
2	堆肥ふるい・切返し	麦踏み じゃがいも植え付け	~~雑木林の集い~~ 間伐・除伐	~~2/13 バードウォッチング★~~ ~~2/27 谷戸の目覚め~~	~~2/27 竹細工:こま作りと遊び★~~	2/3 節分・豆まき 2/4 ひな人形飾り ~~2/13 椎茸植菌★~~
3	荒起し・塩水選苗 代作り 畦・水路補修	さつまいも苗床作り 長ねぎ種蒔き ミニトマト・唐辛子種まき	~~植樹イベント~~ 間伐・除伐	~~3/13 バードウォッチング★~~ 3/27早春の里山	3/27 竹細工: 竹の鳥笛・箸・しゃもじこま ★	~~3/6 ひな祭り甘酒~~ 3/8 ひな人形片付け

※★印 …事前申し込みが必要。1～2ヶ月前の「舞の里だより」に詳細を掲載します。HP でもご覧いただけます。

※日程等は変更になることもありますので、ご参加前にお問い合せください。

	活動曜日	活動時間	備考	定例の話し合い
田んぼ	登録グループごとに設定（年 11 回程度）		主に登録をしての参加となります	第 2 日曜 12:30～
畑	日曜	10:00 集合～12:00	【注意】 5～11 月は毎週木曜と日曜に活動	第 4 日曜 12:30～
	第 2・第 4 木曜			
雑木林	日曜	13:00 集合～15:00	【注意】 4～9 月は日曜のみ活動	第 1 日曜 12:30～
	第 2・第 4 水曜(10 月～3 月)	10:00 集合～12:00		

※年間登録制の「こども谷戸教室」、「親子自然教室」、「舞岡公園谷戸学校(会のスタッフ養成講座)」もあります。

2. 田んぼ

〈作業概要〉

今年度はコロナ禍が続き各田んぼグループの活動に制限がかかることもありましたが、公開田植え体験・公開稲刈り体験は人数を各 100 名にして実施することができました。炊き出しのほとんどと餅つきができませんでしたが、ボランティアの皆様と舞岡公園スタッフが一丸となって何とか 1 年を無事に過ごすことができました。ひとえに皆様のご尽力によるものと感謝いたします。ありがとうございました。

4 月	新年度の田んぼ作業は3月末の「塩水選」作業から始まります。塩水選は、全ての田んぼに植える稲の苗を育てるために、塩水に種籾を浸して厳選する作業です。厳選した種籾は2週間ほど真水に浸し、根が出始めた段階で苗を育てる「苗代田」に蒔きます。今年は気温が高かったせいか根が少し出すぎる傾向になりました。来年度は浸す時間を 1 週間にしてみようと思います。 時期を合わせて、苗代田では「田起し」と「代かき」が行われました。 4 月 4 日と 4 月 11 日に、根が出始めた種籾を苗代田に蒔きました。種籾は毎年作付けしている早稲種の「コガネモチ」と晩稲種の「マンゲツモチ」です。 (舞岡公園ではこれ以外にもみどり糯、黒米、赤米などの古代米も少し栽培しています。)種籾を蒔いた後の苗代田には、カモなどの鳥害対策として防鳥用ネットを掛けました。
5 月 ～6月	5 月下旬までにほとんどの田んぼの代かきは何とか終わり田植えの準備が整いました。一方苗代育成状況は昨年の反対の傾向となりコガネモチは少し発芽率が悪かったですが、マンゲツモチは順調に育ちました。また一昨年度、昨年度の経験より32番田んぼを予備苗代田として活用したためコガネモチの不足分も補うことができました。 5 月後半から代かきが終わった各田んぼでは順次苗代田から丁寧に早苗を取り 5 月 15 日から一般ボランティアさんも参加して田植えを行い、6月中旬にはほぼ完了しました。また昨年できなかった公開田植え体験も 5 月 30 日に無事 101 名の参加を得て盛大に行うことができました。お米の種類は例年通り14、15番田んぼを境にして分けました。(他にみどり糯、黒米等も植えています。)なお関東地方では 6 月 14 日に梅雨入りとなりました。苗代田は水が滞留し水温が上がり易く、早苗を取る時にセルカリア被害を受けやすいので、例年同様水道水を引込んで水温を下げながらセルカリアを排出するとともに、ビニール手袋を使用して早苗取りをするなどの対応をしました。その効果もあって、セルカリアの被害はほとんどありませんでした。 田植え後 3～4 週間経った田んぼにはコナギやオモダカ等の草が生えて稲が生長するための養分を奪い、日光を遮り水温があがらず稲の成長を妨げるので、草取りや畦の草刈りは大事な作業です。各田んぼの草取りと畦の草刈りは全田んぼで順調に進みました。
7月	東日本太平洋側は 7 月上旬に梅雨前線の影響で大雨となり、降水量はかなり多く、土砂災害等の被害が発生した所もあったようです。しかし 7 月 16 日には梅雨も明けてそれ以降は比較的晴天が続きました。稲は順調に成長し、田の草取りも 7 月下旬から 8 月上旬には完了し、7 月 20 日過ぎには幾つかの田んぼで出穂(しゅっすい)が観察されました。出穂の25日くらい前から「幼穂形成期」にあたり、また出穂後30日位までは水を必要とする時期と言われていますが、7 月は水不足を心配することなく田んぼは実りの準備期に入りました。また稲穂の食害を雀から防ぐため、防鳥ネットは 18～28 番田んぼで使用しました。ネット無しの田んぼでは若干の食害がありましたが来年度もこの基本は踏襲します。また、今年度はネットの痛みが少なく補修もはかどりました。これも皆さんが丁寧にネットを扱っていただいたおかげです。ありがとうございました。
8 月	8 月上旬の中頃までは各地で晴れた日が続きましたが、中旬から下旬の前半は湿った空気が入り、雨が続き、東日本太平洋側の月降水量はかなり多かったです。該当田んぼの防鳥ネット掛けが8月上旬には完了する中で、全田んぼでの出穂も進みました。また 8 月下旬から田んぼの水抜きが始まりました。
9 月	9 月は東日本では、中旬の中頃にかけては前線の影響、17 日から 18 日に通過した台風 14 号の影響も受けて、曇りや雨の日が多く、月間日照時間は東日本太平洋側で少なかったです。その後は天気が数日の周期で変化しましたが、高気圧に覆われやすく、晴れた日が多かったため月平均気温は平年並みとなり稲は順調に育ちました。8 月下旬から 9 月上旬にかけて水抜きを行い 9 月中旬からコガネモチの稲刈りが始まりました。 またコロナ禍に負けずに今年も各田んぼには舞岡名物「案山子」が立てられ、来園者の目を楽しませてくれました。
10 月	10 月はマンゲツモチ稲刈りの最盛期を迎えるとともに、稲架かけ後の稲の脱穀シーズンも迎える月となります。今年は台風被害もありませんでした。また昨年コロナ禍でできなかった公開稲刈り体験も 10 月 3 日に約 100 名の参加を得て盛大に行うことができました。なお、「稲架かけ」は、ノコギリ鎌で刈り取った稲株を5株程度に束ねて稲架にかけて 2～3 週間乾燥させる作業です。昨年の問題は稲架に稲をかけたとき下段の低い場所の稲穂をカルガモが引っこ抜いて食べてしまうことでしたので対策として稲架かけには防鳥ネットを必ず張ることにしましたが甘いところは被

	害に合い、来年はさらなる対策を考えます。 脱穀は、足踏み脱穀機と唐箕等を使用して稲架で乾燥させた稲束から籾を外し、その籾を唐箕にかけてシイナや藁屑と分離する作業です。分離した籾は袋詰めを行った後に計量して、脱穀は終了します。事故に繋がり易い作業ですが、今年も事故無く終了させることが出来ました。 今シーズンの収穫量は昨年に比べて約 1%増の 1366 kgでした。脱穀が終わった「稲わら」はよく乾燥させてから納屋に収納し、今年の冬以降農閑期のわら細工や縄ない等に余すところなく利用します。
11 月～ 1 月	次年度に向け土作りの第一歩である荒起しが始まりました。 わら細工用などに使う稲わらは納屋の中に保管し、田んぼと畑の堆肥に使う稲わらは屋外の 14 番田んぼで「わらボッチ」として春先まで保管します。また今年も5,6番田んぼに小型の「わらにょう」も立てました。冬の田んぼ風景とマッチして癒される景色になりました。 なお、舞岡公園での荒起しは11月末の虫籠り時期から3月初めの啓蟄までは行いません。これは冬篭りしている生物を保護するためです。この間は水路の壁補修などの整備作業を行いました。
2 月	2月から3月上旬にかけては堆肥の作製（「堆肥篩い」と「堆肥切返し」）を行います。当公園では化学肥料を全く使用しない無農薬有機栽培を行っており、一昨年の夏から秋にかけて集めた田んぼの草、草刈りの草、わらや落ち葉を堆積して作った堆肥を篩い、各田んぼに撒きました。また、今年度の夏以降に集めていた堆肥材は、鍬などで解（ほぐし）しながら残った堆肥材と混ぜ合わせて新たに堆積させる「切返し」作業を行い来年度の堆肥の準備をしました。あと堆肥場も数か所に分散して作られており無駄を少しでもなくして循環型の稲作りを推進します。
3 月	昨年の秋に荒起しを実施しなかった田んぼでは、3月に入って荒起しを行い来年度の田んぼに引き渡します。一方、来年度用の種籾を選ぶ作業として3月末には「塩水選（えんすいせん）」を実施しました。同時期に「苗代田」にする田んぼの「田起し」と「代かき」を行い、今年度も温かい水が苗代田に入るような工夫も継続して最初の作業の種蒔きに向け万全の準備を行いました。

〈特記事項〉

今年度はコロナ禍が続く中、色々な制約を受けながらもボランティアの皆様と舞岡公園スタッフ一丸となって何とか 1 年を無事に過ごすことができました。

比較的天候にも恵まれたと思っています。できる限りの範囲ではありますが皆さんと元気に・楽しく・安全作業に留意して田んぼ活動を行うという目的は達成できたと思います。

(1) 収穫量

全収穫量は、籾ベースで 1366 kgとなり昨年度の 1321kg に対し 1.03%の増収でした。

(2) 天候による影響

今年は天候には比較的恵まれ台風被害もなく全体としては順調に行きました。

一方苗代育成状況は昨年の反対の傾向となりコガネモチは少し発芽率が悪かったですが、マンゲツモチは順調に育ちました。また一昨年度、昨年度の経験より 32 番田んぼを予備苗代田として活用したためコガネモチの不足分も補うことができました。

(3) 米作り体験グループ・校の動向について

令和 3 年度は、「舞岡小学校」が田んぼ作業に新規参加しました。活動を休止していた「親子自然教室」、「こども谷戸教室」、「スペシャルオリンピックス」が再開しました。一方「ぐみんぼ」が活動を中止しました。

(4) 田んぼ活動を支えるボランティアさんの紹介

地味ながら技術を伝承し、田んぼ活動に必要不可欠な活動であり、技術的な根気を伴う作業に感謝します。また現在お手伝いをして下さるボランティアさんを募集していますのでご興味のある方はぜひご参加ください。

①ネットの繕い

出穂から稲刈りまでの約 3 か月間田んぼに張り続けた防鳥ネットは紫外線で劣化したり、強風や取り扱いの拙さなどで穴が開いたり破けたりします。これを丹念に繕ってくれるボランティアさん達です。（現状ネット枚数 15 枚余）

②農具の点検修理

楔が抜けた鍬や鎌、田植え道具、脱穀用具などの補修を行ってくれるボランティアさんたちのお陰でスムーズな田んぼ作業が行えます。

③わら縄作り

稲架つくりなどの田んぼ作業に欠かせないわら縄を作ってくれるボランティアさんたちです。昔の農家は冬季農閑期作業として、納屋や母屋の炉端で作っていましたが舞岡公園では春から夏にかけて気候の良い時に納屋の足踏み式縄ない機で毎年 15 巻程度を作っています。

お米の収穫量・使用量実績　令和3(2021)年度

①籾収穫量(乾燥後)は 1366kg(精米換算 969kg)。
　前年度の籾収穫量は 1321kg(精米換算 942kg)で前年比　＋1.03％でした。
　・前年新型コロナウイルス感染症対策で不耕作とした田んぼも作付けしましたが、収穫量はほぼ同じでした。
②使用は精米 1097kg(登録ボランティア配布等田んぼｸﾞﾙｰﾌﾟの使用が704kg、事業等や販売での使用が 393kg)
　(前年度の実績は精米で1084Kg)。
③前年度より繰越しは籾 1510kg(精米換算 1057kg)、次年度への繰越しは籾 1300kg(精米換算 910kg)。
※精米換算率は籾重量×歩留まり率 70％(ただし、黒米・赤米・みどり糯は玄米扱いで歩留まり率 80％)で計算

表1. 田んぼ別収穫量(乾燥後)・使用量(精米)

田んぼ No.	面積 ㎡	グループ名	収穫量 籾 kg	収穫量 ※精米換算 kg	使用量 回数	使用量 精米 kg
	5393	合計	1366	969	7	704
1A	195	南舞岡小5年生・小学館アカデミー上永谷(保)	53.2	37.2	※持出	13.8
					※持出	3.0
1B	130	ヤトトロ	42.9	30.0	0	0.0
1C	65	不耕作	—	—	—	—
2A	132	みなみひのレインボー	23.1	16.2	0	0.0
2B	70	きいちごの会	26.5	18.6	0	0.0
3A	115	舞米組	25.8	18.1	0	0.0
3B	95	谷戸九・芹が谷青協	20.8	14.6	0	0.0
3C	107	YMCAとつか保育園	30.9	21.6	※持出	9.6
4A	191	やとぽっぽ	55.9	39.1	1	4.0
4B	60	ポピンズナーサリー・(保)	12.3	8.6	※持出	10.3
5	241	日限山小5年生	84.3	60.7	※持出	30.0
6	248	小菅ヶ谷小5年生	71.2	50.3	※持出	30.0
7A	112	親子自然教室	27.1	19.0	1	7.0
7B	70	こども谷戸教室	25.5	17.9	1	3.9
8A	66	もみの木園(幼)	15.8	11.1	1	4.5
8B	120	保土ヶ谷養護高	32.2	22.5	※持出	14.7
9A	67	つとむくん	16	11.2	0	0.0
9B	100	巴の会	24.3	17.0	0	0.0
10A	165	きいちごの会	24.3	17.0	0	0.0
10B	85	ゆたかカレッジ	12.9	9.0	※持出	6.0
11	132	とみとおはこの会	30	21.0	1	3.8
12	226	金井幼稚園	60.3	42.2	※持出	42.2
13A	150	スペシャルオリンピクス	59.4	41.6	※持出	6.0
13B	163	どろんこの会	46.9	32.8	0	0.0
14	436	公開体験田	154.5	108.2	—	—
15	82	生物環境部会田(不耕起)	5.1	4.1	0	0.0
16	66	本牧稲作部	12.4	8.7	0	0.0
17	106	とみとおはこの会	29.1	20.4	0	0.0
18	109	谷戸学校28期生	26.6	18.6	0	0.0
19	66	土の会	19	13.3	0	0.0
20	85	どん米	14.6	10.2	1	2.7
21	106	休耕田	—	—	—	—
22	103	B23・田24・1/4s	5.6	3.9	0	0.0
23	88	ゆいまーる(不耕起)	9.1	7.3	0	0.0
24	60	部会田	4.5	3.6	—	—
25	103	谷四囲会	22.5	15.8	0	0.0
26	82	グリーン・十互の会	24.1	16.9	—	—
27	106	一七穂の会＆キッズ	26.9	18.8	0	0.0
28A	90	かわにな	48.7	39.0	—	—
28B	150	稲らぼ	22.3	15.6	0	0.0
28C	140	ブリヂストン	28.7	20.1	0	0.0
28D	90	舞岡こめこめクラブ	10.7	7.5	0	0.0
30	80/149	もち米(不耕起・事務局)	30.5	24.4	—	—
31	112	舞岡小学校	34.1	23.9	1	5.0
					※持出	9.7
32	71	黒米・赤米	14.9	11.9	0	0.0
33	[58]	実取らず(農芸)	—	—	0	0.0
36	[60]	実取らず(農芸)	—	—	—	—
令和2年度登録ボランティア配布米(0.8×29人)					2回目	23.2
令和3年度登録ボランティア配布米(0.8×392人)					1回目	313.6
令和3年度登録ボランティア配布米(0.8×201人)					2回目	160.8

表2. 事業等での使用量(精米)

使用量 月日	内容	精米 kg
	合計	408
中止	花見茶屋(団子)	0.0
中止	東日本大震災チャリティー	0.0
	こども谷戸まつり(餅)	
	こども谷戸まつり(甘酒)	
6月上旬	法人会員お礼 (0.8×25人)	20.0
	〃　(黒米0.2×25人)	5.0
中止	里山のくらし体験	0.0
9.15	お月見だんご用米粉	1.0
10.17	かかし参加賞(1.5×33体)	49.5
	〃　賞品(6.0,5.0,4.0,3.0)	18.0
11.06	戸塚区地域づくり大学校お土産	1.6
11.24	評議員さんお礼 (0.8×12人)	9.6
	〃　(みどり糯0.2×12人)	2.4
	〃　(黒米0.2×12人)	2.4
中止	収穫祭	0.00
	谷戸餅	
	おこわ	
	焼き餅	
	甘酒	
	谷戸だんご	
	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｽﾀｯﾌ土産	
12.19	畑部会お疲れ会	3.0
12.21	スタッフ米(0.80×48人)	38.4
12.21	鏡餅用もちとり粉	1.5
12.24	鏡餅作り体験	9.0
中止	七草がゆ	0.0
1.13	まゆ玉作り(米粉)	1.0
	〃　(色付け用米粉)	0.4
中止	農芸部会お疲れ会	0.0
中止	ひな祭り　甘酒	0.0
中止	いろいろボランティア お疲れ会(餅)	0.0
10月～3月	販売(もち米)	170.0
	〃　(黒米)	24.0
	〃　(みどり糯)	22.2
	〃　(赤米)	4.9
—	炊出しおにぎり等用黒米	0.9
3.20、3.27、4.03、	R3年度用種籾(精米換算) (マンゲツモチ12.8kg(No.1A)) (コガネモチ　8.4kg(No.18)) (ミドリモチ　1.5kg(No.28A)) (黒米・赤米　0.5kg(No.31))	23.2

◎新型コロナウイルス感染症感染防止のため一部の田んぼグループの炊出し及び一部の事業を除いて中止となりました。

３．畑

（１）野菜作りの主な特徴

・野菜の作付けについては、新型コロナの感染状況の影響で収穫祭と炊出しの実施が不透明なことから、前年度と同様、例年より作付け計画を縮小して実施しました。また個別の野菜の収穫状況は、コロナ禍の人手不足による畑作業の遅延、さらに天候不順や害獣（アライグマ・カラス等）・害虫（カメムシ・ネキリムシ等）の被害などいくつかの原因が重なり厳しい状況でした。

・収穫した野菜については食品ロスを防ぐため市民の方々にカンパで提供しました。

・昨年、新型コロナウィルスの影響で実施できなかった南舞岡小学校の１年生による「コスモス」と「ヒマワリ」の種蒔きは、今年は実施できました。「コスモス」「ヒマワリ」共に綺麗に咲かせることができ、来園者に喜んでいただきました。

・明治学院大学国際学部の学生有志に畑作業体験の指導をしました。

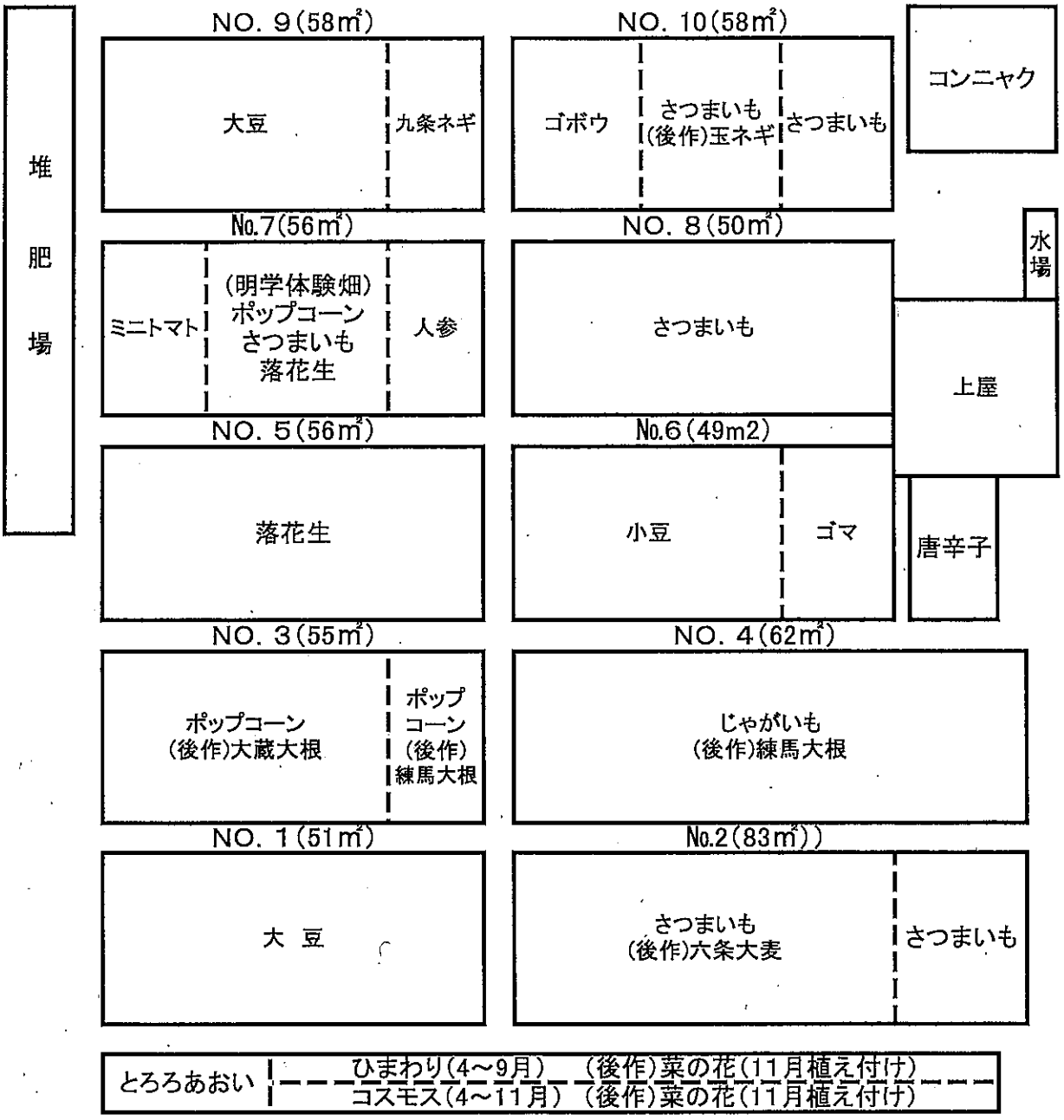
（２）主な野菜の収穫量及び活用方法　　（　）内の数字は前年度の収穫量

野菜の種類	収穫量（kg又は本数）	使用目的
さつまいも	２３２（１２５）	収穫祭と炊出しの中止により市民にカンパ提供
六条大麦	５（１５）	同上　但し種は確保
大根（大蔵・練馬）	４００本（３４４本）	同上　但し沢庵漬けは実施
さといも	１０３（１６６）	同上　但し種芋は確保
にんじん	３（１６）	同上
ポップコーン	８（３）	同上　但し種は確保
落花生	５（４）	同上　但し種は確保
じゃがいも	４８（９３）	同上
ごぼう	３０（２１）	同上
玉ねぎ	６（６）	同上
ねぎ（長ねぎ・九条ねぎ）	２００本（２５０本）	同上　九条ねぎは株分けを実施

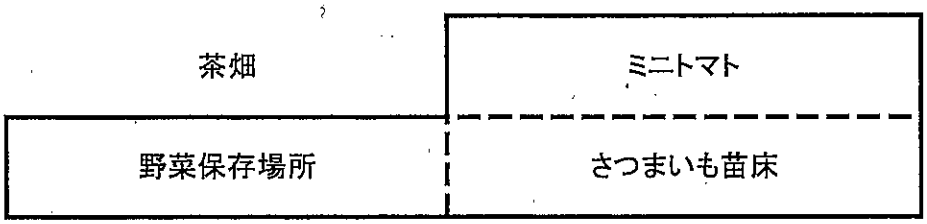
（３）作業内容及びボランティアの延べ参加人数

月	主な作業内容	参加人数（人）
４月	ごぼう種蒔き、さといも種芋植付け、じゃがいも芽欠き・土寄せ	６４
５月	落花生・ポップコーン種蒔き、ミニトマト・さつまいも苗植付け、大麦収穫	７６
６月	さつまいも苗植付け、大豆種蒔き、じゃがいも収穫、ゴマ種蒔き	１０６
７月	大豆種蒔き（追い蒔き）、さといも土寄せ・敷き藁、草取り	７４
８月	ミニトマト収穫、にんじん種蒔き、ポップコーン収穫、大蔵大根種蒔き	７３
９月	練馬大根種蒔き、ポップコーン収穫、玉ねぎ種蒔き、草取り	６５
10月	玉ねぎ種蒔き（追い蒔き）、小豆収穫、ゴマ収穫、草取り	８６
11月	落花生・さつまいも・ごぼう・大蔵大根・さといも収穫・種芋保存	１２２
12月	玉ねぎ苗植付け、練馬大根の沢庵漬け	８５
１月	落葉かき、堆肥作り	７６
２月	じゃがいも畝作り、堆肥作り	４４
３月	じゃがいも種芋植付け、さつまいも種芋植付け	７１

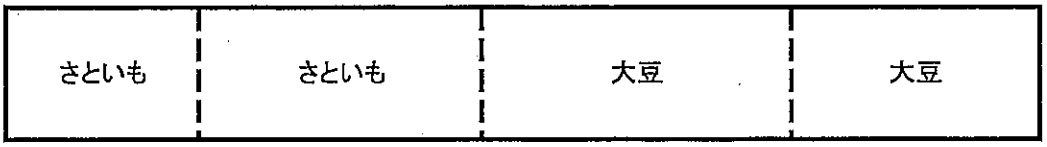
体験畑作付



小谷戸の里畑作付



大豆畑(7・8番田んぼ奥)作付



4． 雑木林

里山における雑木林は、昔から建築資材や道具等の用材、燃料用の薪炭材、堆肥用の落葉や下草、および食材としての野草やキノコ等を供給する場として、生活に密着していました。横浜市の原風景である谷戸の景観を留めている舞岡公園の雑木林は、園内の田畑に水を供給するだけではなく、江の島へ注ぐ境川水系の源流の一つとして、流域全体の自然・生態系の維持に大きな役割を果たしています。

もとより、雑木林は、野鳥・昆虫などの動物や植物・菌類にとってなくてはならない生命の営みの場そのものであり、生物多様性の実現へと繋がる貴重な環境でもあります。そしてそれらの営みと緑や花など自然そのもののもつ優しさが、何よりも訪れる人々をほっとさせる憩い・癒しの空間を提供しています。里山の雑木林を、できるだけ良好な状態で維持することで、多くの来園者に喜んで頂けるよう今年度も様々な雑木林作業を行いました。

今年度は、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から、イベントとして予定していたシイタケ植菌と植樹を通常の活動として実施しました。

また、期初からスタッフ・ボランティアの健康状態のチェックを行いながら活動を行いました。

＜活動概要＞

1. 下草刈り（18 回：早朝草刈り 3 回を含む）
2. 炭焼き関連（26 回：炭焼き 2 回、釜補修 4 回を含む）
3. 間伐・除伐関連（6 回）
4. 階段補修（2 回）
5. 椎茸植菌（2 回）
6. 椎茸関連作業（4 回）
7. 林の現場確認（3 回）
8. 定例部会（11 回）
9. 活動中止（雨天：5 回、警報：1 回、コロナ関連：1 回　計：7 回）

＊事業参加総人数：596 人

＜1年間の活動記録＞

活動日	作業内容（場所等）	参加人数（人）
4/4	林の現場確認　4～7月期	3
4/11	炭材作り	7
4/18	炭材作り	11
4/25	炭材作り	9
5/2	炭材作り	12
5/8	窯詰め	13
5/9	炭材作り	11
5/15	炭焼き①	21
5/16	炭焼き①	33
5/23	炭材作り	18
5/30	炭材作り	7
6/6	炭材作り	8
6/12	炭出し・窯詰め	7
6/13	窯詰め・炭材作り	6
6/19	炭焼き②	18
6/20	炭焼き②	15
6/27	炭窯補修	7
7/4	下草刈り　警報中止	0
7/10	炭出し	12
7/11	炭窯補修	6
7/18	下草刈り	11
7/25	林の現場確認　8～11月期	5
8/1	早朝草刈り	11
8/8	早朝草刈り　雨天中止	0
8/15	早朝草刈り　雨天中止	0
8/22	早朝草刈り	13
8/29	早朝草刈り	13
9/5	下草刈り	5
9/12	下草刈り	6
9/19	下草刈り	8
9/26	下草刈り	7
小計（人）		303

活動日	作業内容（場所等）	参加人数（人）
10/3	下草刈り	10
10/10	下草刈り	7
10/13	下草刈り　雨天中止	0
10/17	下草刈り　雨天中止	0
10/24	下草刈り	5
10/27	下草刈り	6
10/31	下草刈り	8
11/7	下草刈り	8
11/10	下草刈り	6
11/14	下草刈り	4
11/21	下草刈り	4
11/24	間伐・除伐	6
11/28	階段補修	8
12/5	林の現場確認12～3月期・(階段補修)	8
12/8	間伐・除伐　雨天中止	0
12/12	炭窯補修	7
12/19	下草刈り	12
12/22	間伐・除伐	6
1/9	間伐・除伐	8
1/12	間伐・除伐	8
1/16	榾木準備	9
1/23	間伐・除伐	11
1/26	榾木準備	9
1/30	榾木準備	13
2/6	間伐・除伐	16
2/9	榾木準備	10
2/11	雑木林の集い　中止	0
2/13	シイタケ植菌	18
2/20	シイタケ植菌	12
2/23	炭材作り	8
2/27	炭材作り	10
3/6	(炭材作り)階段作り	11
3/9	炭材作り	9
3/13	炭材作り	8
3/20	炭材作り	13
3/23	窯詰め	9
3/27	炭窯補修	6
小計（人）		293

総計（人）　596

５．生物・環境

指導員1名、準指3名、一芸登録者5名、アシスタント4名の計13名により以下の活動を行いました。
今年度もコロナウイルス対応による中止（まん延防止期間中は中止、他随時状況判断）の多い一年でした。

（1）　自然観察会：事前申し込みによる定例自然観察会と野鳥観察会を、計５回実施しました。

1）定例自然観察会　　：原則、毎月第４日曜日、午後２時間（１０回）　24名参加（4回）
2）夜間観察会（ホタ）：６～７月の土曜日、夜間、１時間半（２回）　中止
3）夜の里山生き物探索：7月下旬～8月上旬土曜日、夜間、２時間（１回）中止
4）冬季観察会（野鳥）：１～３月の日曜日、午前、２時間（３回）　12名参加（1回）
※定例自然観察会は、12回中８回が中止となりました。

（2）　調査・保全作業

1）田の草調査　　10年めの調査になるが、隔年調査とし、今年度は実施予定だった
2）田の生き物調査　が、コロナ禍でもあり未実施としました。

3）ビオトープの管理 作業：　4/11（3名）、5/9(6名)
7/17（2名）、3/13（3名）
調査：　5/9（6名）

さくらなみ池とその下流の民間営農地との間の土手状の部分について、草原状の陸地部分と池側の水辺部分は公園内の他の区域とは異なっているためビオトープと名付けて管理しています。草原状部分はバッタ類を指標として草の背丈などを管理、水辺部分はトンボ（ヤゴ）を指標生物として、アシを部分的に刈るなどの管理しています。
また、ハンノキを食草とするミドリシジミの生息地になっていますのでそれを考慮しての管理をしています。セイタカアワダチソウ抜きなど植生も調査、保全しています。

・今年は、7月に全面の機械刈りを行いました。
・作業は、草地部分の草刈りと水辺部分の整備をしています。
　樹木の剪定の勉強会を兼ね、剪定を行う（4年め）。3月に実施。

（3）事業記録

1）定例自然観察会　　：事前申込み、参加無料。毎回観察記録ポスターを掲示しました。

月日（曜日）	内容	時間	参加者数
4月25日（日）	春の野鳥	13:00～15:00	中止
5月23日（日）	若葉の雑木林	13:00～15:00	中止
6月27日（日）	水辺の生き物	13:00～15:00	中止
7月25日（日）	盛夏の谷戸	13:00～15:00	中止
8月22日（日）	夏の里山	13:00～15:00	中止
9月26日（日）	谷戸を観る	13:00～15:00	中止
10月27日（日）	秋の実り	13:00～15:00	5
11月28日（日）	生き物の冬支度	13:00～15:00	7
12月12日（日）	野鳥観察入門	9:00～11:00	10
1月23日（日）	冬の谷戸	13:00～15:00	中止
2月27日（日）	谷戸の目覚め	13:00～15:00	中止
3月27日（日）	早春の里山	13:00～15:00	12
			24

2年度：11人

2）夜間観察会 ：18:45～20:30（事前申込、中学生以上500円、小学生200円、定員10名）
6/12(中止)、6/26(中止)　　今年度は中止となりました。
（ ）内は参加者数、いずれも土曜日

3）夜の里山生きもの探検　　：18:45～21:00（事前申込、中学生以上500円小学生200円
7/25（土）（中止）　　今年度は中止となりました。　　定員10名）

4）冬季観察会（野鳥）：9:00～11:00 （事前申込み、小学生以上200円、10名募集）
1/9（12名）、2/13（中止）、3/13（中止）
（ ）内は参加者数、いずれも日曜日

（4）舞の里だよりへの執筆
毎号、「生きもの語り」と定例自然観察会の報告を隔月で執筆しています。
バックナンバーの整理、まとめを実施。タイトル一覧とファイルにまとめ閲覧できるようにしました。

（5）部会内勉強会
今年度より、部会を議事と勉強会と二部構成ですすめました。
調査前等の事前学習やスキルアップ、他部会との生物環境的な視点を提供する目的で行いました。勉強会内容は記録に残してファイルしました。
「樹木と野草のしおり」の観察（季節毎）、雑木林の確認、野鳥観察

（6）部会、生物多様性部門会議の実施。他活動等
部会は原則月１回実施しました。
生物多様性部門会議での内容について必要な部分は部会でも説明。
不耕起冬期湛水田（no.15)の他、休耕田（no21)の保全作業も部会有志を募り実施しました。

6. 楽しく体験・季節の行事その1(農芸)

農作物の副産物や竹など公園内で取れる材料を利用して、昔ながらの身の回りの物や季節のお飾りなどを作る体験活動を行いました。又、正月飾りなどの行事や小谷戸屋で販売する作品作りに利用するため、田んぼで「実とらず稲」の栽培や茶摘み体験用の「茶の木」の手入れなどを行ないました。

新型コロナウィルスの感染拡大に伴い行事の中止、公募数の変更、一部行事内容の変更を行いました。

月日	曜日	行事名	内容	公募組数(組)	参加人数(組)	スタッフ人数
4/18	日	わら細工:亀作り	藁を使って亀作り	15	24人 15組	14人
7/25	日	竹細工:水鉄砲、竹のぽっくり作りと遊び	竹で水鉄砲、ぽっくりを作り遊ぶ	20	40人 20組	11人
8/22	日	わら細工:わら草履作り	藁を使って草履作り	20	中止	—
9/26	日	竹細工:竹の風車作り	竹ひごを使って風車を作り回して遊ぶ	20	中止	—
11/14	日	わら細工:鍋敷き・リース作り	藁を使って鍋敷き又はリース作り	20	22人 (17組)	13人
12/11	土 午前	ミニ門松作り	真竹、孟宗竹、松、藁で織ったコモを使ってミニ門松作り	20	33人 (22組)	11人
12/12	日 午前			20	45人 (24組)	15人
12/12	土 午後	わら細工:正月飾り作り	藁を使って3種類の正月飾り作り	20	37人 (24組)	10人
12/13	日 午後			20	51人 (25組)	13人
1/23	日 (1日)	竹細工:和凧作りと凧揚げ	am: 竹ひご、和紙で凧作り pm: 凧揚げ遊び	15	中止	—
2/27	日	竹細工:こま作りと遊び	竹を使って3種類の手回しこまを作って遊ぶ	20	中止	—
3/27	日	竹細工:~~竹の鳥笛~~こま、箸、しゃもじ作り	竹を加工して~~鳥笛~~ こま他2種類作成	20	30人 (13組)	13人
				合計参加人数	282人 (160組)	100人

事務局連携事業

月日	曜	行事名	内容	公募人数	参加人数	スタッフ人数
5/3	月 (祝)	お茶摘み体験	茶摘み 1回目	40	中止	—
			茶摘み 2回目	40	中止	
				合計参加人数	—	—

＊茶摘み体験が中止となったため、5月5日(水・祝)に農芸スタッフ(16人)事務局スタッフ6人で茶葉を摘み、「舞・小谷戸屋」で販売しました。

7. 楽しく体験・季節の行事その2（事務局）

古民家を中心に四季折々の伝統的な行事を計画しました。
しかし、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言が出されたりイベント自粛要請が出されたりしたため、多くのイベントを中止しました。

月日	曜	事業名	内容	公募人数(人)	参加人数（人）
4/4	月・祝	花見茶屋	古民家でもち米・赤米入り・みどり糯で作った三色団子を提供	—	中止
5/5	水・祝	こども谷戸まつり	東日本大震災復興支援チャリティーイベントとして開催 売上金は義援金として被災地（東日本大震災岩手の学び希望基金）に贈る	—	中止
5/16	日	まい作品展・春	古民家庭に、舞岡公園を題材とした写真・絵画・バードカービング・絵手紙等を展示	—	中止
5/30	日	田植え体験	公募の田植え体験	100	94
7/1～7/8	木～木	七夕飾り	笹を飾り、来園者が短冊に願い事を書く	—	約60
7/17	土	谷戸肝だめし	谷戸の暗さと静けさによる"怖さ"を体験	8組	7組 29人
7/29～7/30	金土	昔の暮らし体験	古民家に泊まり、昔の暮らしを体験する（対象：小学4～6年生）	10	中止
9/21	金	お月見会	古民家の庭でお餅搗きを楽しみ、餅を食べながらお月見をする 4歳以下には「お月見くんな」（地域伝承行事）を実施	60	中止
10/3	日	稲刈り体験	公募の稲刈り体験	100	76
11/3	水・祝	まい作品展・秋	古民家庭に、舞岡公園を題材とした写真・絵画・絵手紙・俳句等を展示	—	中止
11/23	火・祝	収穫祭	詳細…別項	—	中止
12/3	金	すす払い	母屋の天井裏や、梁のすす払い	—	6
12/10～11	金・土	障子張り	母屋の座敷、欄間、2階の障子を剥がし、障子張り	—	17
12/25	土	鏡もち作り体験	搗いた餅を丸めて、お正月の鏡もち作り	15組	11組 34人
12/26	日	大掃除	一年間お世話になった事務所、作業棟、納屋の大掃除	—	26
1/5	水	こども書初め会	小学生対象の書初め会 作品は古民家床の間に季節に応じて展示	12組	12組 24人
1/8	土	七草がゆ	谷戸で採れた七草で粥を作り、提供 七草の寄せ植えも展示	—	中止
1/11	火・祝	まゆ玉作り	5色の団子を作り、ミズキの枝に刺して母屋に飾る	—	4
1/16	日	さいと焼き	1年の平安を願って正月飾りや書初めなどを田んぼで焼く	—	約120
2/3	木	節分の豆まき	年男年女の掛け声で古民家と来園者のわざわいを払い、健康と幸福を願って豆をまく	—	8

合計参加人数　約498　人

１０．こども谷戸教室

１）活動概要：田んぼ活動を初めて体験する小学生対象の教室です。谷戸の自然の中で１年間のびのびと米作り体験を行いました。
２）対　象：小学１～３年生とその家族
３）活動田んぼ：№７Ｂ
４）担当者：２名

月日	テーマ	実施状況	参加人数				
			子ども	保護者	弟妹	スタッフ	合計
5/1	田起し	初めて三本鍬をもって田んぼを耕した。	13	19	2	2	36
5/22	代かき	水の入った田んぼに入り戸惑う子もいたが最後は泥遊び状態になり楽しくできた。	16	20	1	2	39
5/29	田植え	親子で並んで田植えをした。きれいに植えることができた。	9	15	2	2	28
6/26	草取り・畦の草刈り	田んぼの感触にも慣れ、みんなで草取りができた。	13	17	2	2	34
7/24	草取り・畦の草刈り	2回目の草取り。取った草は堆肥場に運んだ。	12	11	0	2	25
8/28	水抜き 案山子（谷戸歩き	合計 6 体の案山子を作った。みんなで田んぼに案山子を立てた。	12	15	3	2	32
10/2	稲刈り・稲架かけ	鋸鎌で稲刈りをした。刈った稲は保護者が束ねた。その後、みんなで一緒に稲架に稲束を掛けた。	15	19	5	2	41
10/16	脱穀	足踏み脱穀機も、唐箕もみんなが経験できた。手でしごいて脱穀する子もいた。	11	15	1	2	29
12/4	落ち葉かき・堆肥作り）	熊手を使って小谷戸の里の入口で落ち葉かきをした。落ち葉を堆肥場まで運び積んだ。	6	8	0	2	16
1/15	炊出し	コロナ禍の影響で餅つきはできなかったが炊き出しをした。自分たちで育てた米を昔ながらの方法で蒸し、里山で取れたもので作った谷戸鍋を親子でいただくことは楽しい思い出になったと思う。	11	14	1	2	28
3/5	堆肥振るい・荒起し・お楽しみ	来年のための荒起しの後、親子でノコギリを使ってサクラの丸太を切り、焼印を押したコースターを記念品として作った。1年間の思い出作りができた。	13	14	0	2	29
合　　計			131	167	17	22	337

11. 谷戸学校（28期生）

*重要な役割を担うスタッフの養成講座

活動日	10時 ～ 12時		参加人数（人）	13時 ～ 15時		参加人数（人）
4/18	開講	座学	17	オリエンテーション	実習	16
4/25	雑木林部会実習①	実習	16	田起し	実習	17
5/9	各部会紹介	座学	21	代かき	実習	18
5/23	生物多様性実習①	実習	16	苗取り・田植え	実習	18
6/13	草取り・草刈り①	実習	16	畑部会実習①	実習	17
6/27	草取り・草刈り②	実習	14	ミーティング	座学	13
7/11	草取り・草刈り③	実習	15	農芸部会実習①	実習	14
7/25	ネット掛け準備	実習	15	ネット掛け	実習	11
8/22	水抜き・草刈り	実習	13	生物環境部会実習	実習	12
9/5	稲架作り	実習	15	案山子作り	実習	14
9/26	稲刈り	実習	15	稲刈り・稲架かけ	実習	15
10/10	脱穀	実習	13	脱穀	実習	12
11/28	農芸部会実習②	実習	16	荒起し①	実習	12
12/5	ネット修理	実習	12	谷戸歩き	実習	11
12/12	古民家の活用と維持	実習	14	道具の手入れ・収納	実習	13
1/16	ボランティア活動について	座学	12	畑部会実習②	実習	12
1/23	生物多様性学習②	座学	15	雑木林部会実習②	実習	15
2/13	畑部会実習③	実習	16	堆肥ふるい・堆肥作り	実習	13
2/27	籾摺り・精米	実習	13	谷戸学校修了後について	座学	13
3/13	実習レポートの発表	座学	14	荒起し②	実習	16
3/27	種籾塩水選	実習	16	記念植樹・修了式	実習	14

＊事業数　42回
＊年間総参加人数　610名　（ｽﾀｯﾌを含む）
＊各部会の活動実習　部会実習を講座に組み入れた（６回実施）
＊案山子まつり進め役　有志で竹の準備、人気投票開票、表彰状作成を担当
＊案山子製作数　1体
＊記念植樹　「キンカン」
＊修了後のグループ名　鉄人28郷
＊令和4年度の休日谷戸番　月2回程度を全員持回りで担当
＊令和4年度のスタッフ予定
　・準指導員　7名
　・アシスタント　3名

12. 広 報

毎月「舞の里だより」を発行（11・12月は合併号）。「広報よこはま」戸塚・港南・栄区の各区版にも、イベントの情報等を掲載しました。大きな行事のお知らせや行事の募集などは、小谷戸の里入り口大掲示板や作業棟前掲示板、古民家入口などにポスターを掲示しました。 ボランティア募集や登録者への呼びかけは、作業棟前・大掲示板に掲示したほか、舞の里だよりにも同封しました。

(1)舞の里だより発行部数

・登録ボランティアへの郵送：約400部、その他（区役所・近隣町内会等）への配布：約1,300部。
残りを小谷戸の里と情報館、瓜久保の家に置き、来園者が自由に持ち帰れるようにしました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11・12	1	2	3
号	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312
部数(部)	2,200	2,000	2,000	1,800	1,800	2,100	2,200	2,300	2,300	2,000	2,100

(2)取材・報道等

・8件（資料集参照）

(3)その他の広報

・野鳥とのであい、樹木と野草のしおり、定例自然観察会の報告、谷戸ごよみ、生き物持出し禁止、絵の具注意、犬の注意等のポスターを園内各所に掲示しました。

・ホームページには舞の里だよりを掲載。また、舞岡公園の日常を随時ブログで紹介しました。

(4)活動状況

・「舞の里だより」発行日の第3土曜日午前中に、折り・封筒詰めボランティア（数名）が活動しました。

・「舞の里だより」の読み物として、生物環境部会が「生きもの語り」を連載しました。

・「舞の里だより」編集や郵送手続等は主に事務局で対応しました。

13. 舞・小谷戸屋

(1)店舗品製作ボランティア（竹炭焼きボランティア、竹トンボ作りボランティア、藁・竹製品作りボランティア等）と事務局スタッフで日々の業務を円滑に進めることができました。わら亀や鍋敷きなどの定番品に加え、ボランティアさんの創意あふれる新製品が増えて来園者にも喜ばれています。

(2)完全無農薬有機栽培を実践している田んぼや畑の稲わら・麦わら・わら縄・もみ殻・もみ殻燻炭（稲作、畑作の副産物）や木酢液・竹酢液（炭焼の副産物）の販売を行いました。

(3)収穫祭中止により使用量が少なかったため、もち米や黒米をカンパ提供しました。

(4)環境への配慮から木酢液の販売はリサイクル瓶を、木炭等の販売はリサイクルペーパーの手作り品を、購入品持ち帰り用の袋はリサイクル紙袋を使用しました。

＊舞・小谷戸屋年度販売実績

令和元年度	令和2年度	令和3年度
802,500円	1,166,561円	1,344,530円

＊主な店舗品の販売実績

野鳥とのであい(100円)	94部	わら馬(300円)	74個	竹のかざぐるま(300円)	255個
絵はがき(50円)	209枚	竹の鳥笛(250円)	232個	正月飾り(200～600円)	78個
樹木と野草のしおり(500円)	122セット	竹とんぼ(150円)	491個	ミニ門松(800円)	56個
特選わら草履(800円)	26足	竹ぶんぶんごま(50円)	387個	木(竹)酢液(100～250円)	221本
鍋敷き(600円・400円)	173個	竹ヘラごま(150円)	215本	稲わら(100円)	285個
わら亀(大300円・小150円)	166個	竹かご(50～1000円)	91個		

＊その他取り扱い約40品目

１４.生物多様性維持保全活動

(1) 外来植物防除隊（15 回：60 人）

平成 22 年 12 月に約 15 名でスタートした「生物多様性創出実践 PJ」は外来生物の防除（環境整備と駆除)、園内保全植物の継続調査･記録、植物繁殖活動（種蒔きと苗の移植）などを毎月 2 回実施してきましたが、平成 26 年 3 月を一区切りとし活動を終了しました。

平成 26 年 4 月から引き続いてセイタカアワダチソウ、ヒメオドリコソウ、ニワセキショウ等の外来植物の駆除に絞って「外来植物防除隊」として月 2 回実施を目標に再スタートし、現在に至っています。駆除する植物の多くはきれいで可愛い花をつけていてかわいそうですが、保全植物が繁殖する環境作りの為に防除活動を続けていきます。

(2) みち草ボランティア（23 回：89 人）

在来種を増やすため、ポットに種を蒔き、芽が出たものを各所に移植したり、セリバヒエンソウ・オニノゲシ・ニワゼキショウなどの外来種の防除をしたりしました。長久保の里を活動の中心とし、ノアザミ・キキョウ・オミナエシ・カワラナデシコ・リンドウなどの保全に力を入れています。古民家の景観づくりのための干し柿作りもしました。

(3) やっと CO（10 回：36 人）

舞岡公園を活動場所としている幼稚園の保護者有志のグループがボランティア活動を行っています。セイタカアワダチソウを中心にハルジオン・ヒメジョオン・ニワゼキショウ・ウラジロチチコグサなどの外来種防除を行いました。活動場所を限って継続防除することで効果をあげられたと思います。

(4) ホタル調査：水生ボタル（ゲンジボタル・ヘイケボタル）

・6 か所同時に定点一斉発生調査（調査期間　：6/3～7/22）

・今期も昨年同様、出現が早いのではないかと予測。毎週木曜日におよそ 2 時間の調査を 1 か月半ほど続けました。

・気候変動の影響でしょうか、数年前に比べてゲンジボタル・ヘイケボタル共に発生数が減少。

・ヘイケボタルの発生数が、6 月中旬（ゲンジボタル調査中）にゲンジボタルを上回る場所もありました。

・ヘイケボタルの減少は気にかかるところです。田んぼ管理の仕方（畦面の保持、草刈り配慮）も考えられるので、繁殖可能な場所については継続した保全管理をすることが重要と思われます。

・夏季長期間の猛暑の影響で湿地のひび割れや水路の水減少等が有り、少なからず影響しているように思われます。

(5) 小谷戸池・大原おき池・かっぱ池外来生物（ウシガエル・アメリカザリガニ）防除

・事務局で通年罠を仕掛け、ウシガエ 152 匹、アメリカザリガニ 763 匹を捕獲。温暖化の影響か、冬場でも相当数を捕獲しました。併せてオタマジャクシも捕獲。その数 2082 匹になりました。

・11 月にはかっぱ池で池の水位を下げ、網を使って集中的に捕獲作戦を実施しました。南舞岡小学校 6 年生の協力を得て数えたところ、ウシガエルオタマジャクシ 1230 匹、ウシガエル 1 匹、アメリカザリガニ 231 匹を捕獲しました。

・やはり卵の段階で徹底して捕る方法を続けることが重要と思われます。しかし、あっという間に元の状態になるため、抜本的方策が、一刻も早く待たれます。

15. 教育機関・学校の通年・定期体験活動

(1) 田んぼ

1)金井幼稚園(年長 4クラス 74名、保育者4名、保護者適宜)

＜活動概要＞ 田んぼ No.12 (226 ㎡)

・活動回数:全 8回(内訳:保育者・職員・園児・保護者の参加 2回、保育者・園児のみの参加 2回、保育者・職員のみの参加 4回)

・金井幼稚園は公園開園以来米作り体験活動を続けています。

・苗についは、例年通り長野の農家で準備したものを使い、品種は「コガネモチ」です。今年度も前の苗が不足するなか、余剰の苗をいただき、たいへん役にたちました。

・稲は刈り取って園に持ち帰り、園内で乾燥、脱穀して、園で餅つき等の収穫祭を行いました。

・今年度も新型コロナウィルス感染防止を考慮して、園児の参加は担任の先生と園児だけの"泥んこ"(代かき前の田んぼを使用した泥んこ遊び)の2回と、保育者や職員、園児と保護者で行う"田植え""稲刈り"の2回です。残りの作業(田起し、代かき、草取り2回、ネット掛けは中止)は幼稚園の全教職員が参加して行いました。

・刈り取った稲は幼稚園に持ち帰り、幼稚園で乾燥、脱穀し、幼稚園で収穫祭を開き、みんなで楽しく食べました。

・スタッフは指導員1名体制で対応しました。

＜まとめ＞

・新型コロナウィルス感染症防止対策を考慮した体験活動の1年間でしたが、米作りの体験や自然とのふれあいはできたと思います。

・自然とのふれあい、保育者との泥んこ遊びや親子での作業等は、幼児期の貴重な体験の場になっています。

・活動の田んぼは今年度も No.12 で、広さは適切です。

2)もみの木園(園児 20 名前後、保育者 2 名、保護者も参加)

＜活動概要＞田んぼ№8A(66 ㎡)

・活動回数:6回(田起し、代かき、草とり1回、ネットかけなし)

・2～6 歳までのこども達が活動している園舎を持たない野外保育の幼稚園。
舞岡公園が活動拠点の一つになっており、四季を通じて子どもたちが訪れています。
田んぼ活動は 11 年目になります。

・作業内容に合わせて、保護者が作業に参加しています。(全回)

・案山子を今年も1 体作りました。(保護者)

＜まとめ＞

・年齢に応じた作業の進め方を保育者と確認しながら行いました。

・年間 10 回の作業でしたが、昨年度より続く新型コロナウィルス感染防止への対応として、田起し、代かきは中止とし、田植えからの作業を行いました。田植えは、昨年の刈り株の跡に植えるようにしました。
植える場所が鮮明なこと等、作業はとてもやりやすく良かった、との感想でした。2 年続けて、田起し、代かきをせずに田植えをしましたが、お米の出来具合(収量)には変化はありません。田んぼの草が少なくなり、取る作業も少しでした。草の生え具合について、他通常作業田の様子とは異なって少なかったです。

・今年の餅つきも中止となりましたが、おこわにして（おにぎりも中止）で炊き出しをしました。
・今年度も、2,3 歳児の小さな子どもが多く、草刈り後の草集めなど、子どもたちの作業は、田んぼ周りの作業が多い年でした。
・年齢によって作業の参加の仕方を変えています。年中、年長児は、鎌を使っての作業も行います。田植え、稲刈りは子どもの後ろに大人がマンツーマンでついて作業をしています。
・保護者も田んぼの作業を行うことにより、舞岡公園への理解を深めているようです。引き続き、田んぼの活動を行っていくことで、子どもの成長と共に保護者も成長し、ながく公園に親しんでもらいたいという思いのもとに田んぼの活動を行っています。保護者有志で舞岡公園の生物多様性保全グループ「やっと CO」の作業にも携わっています。
・保護者は、子どもの在園中に田んぼに関わることになりますが、作業への理解や所作について、指導員のサポートとなります。卒園児の保護者も作業に参加をしています。子どもの作業へのサポートは、保育者が担当保護者をえらび、指導員がサポートする形をとっています。
・園児の人数は、随時入園のため年度当初より増えていきます。
・卒園児・親のグループは、「もみの木クラブ」といい、田んぼグループ「ゆいまーる」に合流し、田んぼの活動を継続しています。
・2022 年度も、コロナ禍での活動となります。園の方針を伺い、無理のないかたちで安心して田んぼの作業をしていけるように随時話を重ね、すすめていきたいと思います。
・来年度は、11 年間行ってきた8番から、22 番の田んぼに変更になります。田んぼの状況は 各田で違うので、田んぼの様子をみながら、相談しながら作業をすすめていきたいと思います。

3) Y.M.C.A.戸塚保育園(5 歳児クラス 30 名、保育者 2 名～5 名、保護者 15～20 名)

＜活動概要＞田んぼ No3C(130 ㎡)

・活動回数・曜日：全 11 回(活動日は土曜日午前中)
最後の「堆肥撒き」作業は園が休園したりしたこともあり、子ども達の健康を考え作業を中止し、田んぼ部会で行いました。
・代かき、田植え、稲刈り、脱穀の作業は園児が最も活躍した作業になりました。特に代かきの作業後は、田んぼ内でかけっこをしたり、先生とふざけ合って泥だらけになって遊んだりしていました。
・田植え、稲刈り、脱穀では保護者も多く参加し、支障なく作業ができました。
・草取りでも、親子で抜いた雑草を堆肥場までバケツやケースで協力して運ぶ様子が見られました。作業終了後は虫探しや駆けっこを楽しんでいました。
・園での餅つきがコロナ禍でできなかったので、後日、子どもたちがもち米を取りに来ました。
・案山子祭りに参加し 1 体出展しました。
・コロナ禍の中でも、田植え・稲刈り作業は全体を 2 グループに別け、時間差で作業をすることで密にならずに作業ができました。

＜まとめ＞

・今年度の活動日には毎回多くの保護者・園児の参加がありました。園児だけでなく保護者の参加が必須ですが、毎回参加の家族も多数ありました。ありがとうございました。
・今年度は、指導員 1 人体制で作業が始まりましたが、稲刈り・脱穀は応援指導員を 2 人出してもらい作業をすることができました。
・来年度も安全に配慮しながら、子どもたちが舞岡の自然環境の中で楽しく田んぼ作業に関わり、遊べたらいいと思います。
・コロナ禍で保育園の先生方も大変神経を使い行動してくれました。

4) 小学館アカデミーかみながや保育園（年長クラス 10 名、保育者2名）

＜活動概要＞

・新型コロナウィルス感染症の感染防止を考慮(保育園の方針で公共交通機関は不使用)して園児の来園ができず、公園での活動ができませんでした。

・保育園の要請で種籾を提供し、園で苗を育て、バケツで米作りを行ないました。

・また、秋には保育者が来園して、南舞岡小学校5年生の学校田んぼの一部の約20株を稲刈りして園へ持ち帰り、保育園で育てたバケツ稲と比べた後、乾燥して脱穀をおこないました。

＜まとめ＞

・来年度新型コロナウィルス感染症が収まれば、南舞岡小学校5年生の協力で学校田んぼの一角を使用し、園児と保育者で活動する予定です。

5)港南ひまわり保育園

・新型コロナウィルス感染症の感染防止を考慮(保育園の方針で公共交通機関は不使用)して園児の来園ができず、公園での活動ができませんでした。

・なお、苗を保育園に持ち帰り、バケツで米作りを行ないました。

・来年度新型コロナウイルス感染症が収まれば、南舞岡小学校5年生の協力で学校田んぼの一角を使用し、園児と保育者で活動する予定です。

6)ポピンズナーサリースクール（横浜・みなとみらい・馬車道）（年長クラス 30 名、保育者 10 名）

＜活動概要＞田んぼ№.４B（60 ㎡）

・活動回数　全５回（園児参加は４回、保育者のみが１回）

・米作り体験活動は今年で５回目となります。

・前年度と同様、新型コロナウィルス感染防止対策として、保育園毎に貸切バスで時間をずらして来園し、別々に活動を実施しました。

・園児の活動は、代かき、田植え、稲刈り、脱穀の４回。草取りは保育者と舞岡公園スタッフで実施。

・田起しは、公園スタッフで実施。

・案山子作りは、各園で作製し３体を立てました。

・スタッフは指導員１名体制でしたが、稲刈りと脱穀に限り１～２名の指導員の応援を得て実施。

＜まとめ＞

・新型コロナウィルス感染防止対策に注力しながらの１年でしたが、園児に対し米作り体験と自然との触合いは出来たと思います。

7)南舞岡小学校　5年生（ 2クラス 46名、教職員2名、保護者適宜）

＜活動概要＞　田んぼ No.1A（195 ㎡）

・活動回数：全11回の内10回（内訳：2クラス全員参加 7回、1クラスずつ参加 2回、有志参加 1回、餅つきは中止）

・田んぼ体験活動は開園当初から行っています。

・今年度も事前に作業手順を学校に連絡し、事前に先生、保護者に理解いただいたことで、作業内容手順が周知され、混乱なく進めることができました。

・ネット張りは行わないことになったため、草刈り体験を行ないました。

・今年度も案山子を学校で2体作製して立てました。名前は「アマビエ＆金メダル」と「ペンギンとおおかみ」でした。

・餅つきは公園で行なう予定でしたが、新型コロナウィルス感染防止の点から中止としました。
・スタッフは指導員2名、アシスタント3名の体制としました。保護者は毎回5～10名参加いただきました。

＜まとめ＞

・新型コロナウィルス感染防止を考慮した1年間でしたが、米作り体験はできたと思います。
・来年度は1クラスになりますが引き続き体験活動を続けます。

8) 日限山小学校　5年生（3クラス91、名教職員4名、保護者10名～18名が毎回参加）

＜活動概要＞田んぼ№5（面積251㎡）

・ 活動方針

体験活動の狙い

（学校の方針）

「舞岡公園の生物多様性に恵まれた場所で、循環型の米つくりを体験することで持続可能な自然環境の保全について自ら学ぶことができる」

里山づくりや自然を保全する活動も見学体験させていただきたい。

（舞岡公園の対応方針）

学校方針に沿って綿密な打ち合わせを行い、以下の対応方針といたしました。

① 限られた時間内に「効率的かつ総合的な学習」が行えるよう、田んぼ作業と並行させて、説明や質疑応答の時間を設ける。
② 参加して下さっている保護者にも当日作業の概要、目的と、作業手順を図式で説明し児童との協働・共有化を図るように努める。
③ 密集化を避ける工夫をすると共に熱中症対策にも十分配慮し、併せて、使い慣れない鎌や鍬などの農具に対する安全対策を万全に行う。
④ 循環型の農業（SDGs）理解のために、草取りや草刈りで集めた雑草（落ち葉）を利用した堆肥つくりの仕組みと利用の仕方を体験または理解してもらう。

・ 活動回数

全員参加活動8回・希望参加活動1回、保護者と公園スタッフとだけの活動2回

・活動の内容

学習内容（作業）	月	学習内容（作業）	月
田起し・くだき	4月	稲刈り	10月
代かき・畦塗り	5月	脱穀	10月
田植え	5月	荒起し	11月
田の草取り　1回目	6月	縄ない	1月
☆水抜き・草刈	8月	余白	余白

＜まとめ＞

・4月の「田起し」に始まり、「田植え」、「草取り」、「稲刈り」、「脱穀」、「荒起し」、「縄ない」の一連活動が続きました。今年もコロナまん延防止の観点から餅つきは行いませんでした。「草取り」2回目と稲刈り前に行う「水抜き・草刈」は保護者と舞岡スタッフで実施しました。今年も児童と保護者の有志で夏休みに案山子をつくり舞岡公園の一大イベントに出展し、昨年の1位に次ぐ2位を受賞しました。
・公園内での約7か月にわたる野外学習を、今年もまた事故なく安全に終えることができました。

年明けの１月にはSDGｓに繋がる「わら」の利用を理解してもらうために、農芸部会の協力を得て脱穀後のわら利用説明（わら細工見本）や「わら縄」を綯う実体験を保護者15名協働で実施しました。

・1年間通してお世話をさせていただいたことに感謝するとともに学校の教育方針に改めて敬意を表します。今後とも学校方針に順じ、自然豊かな地域の自然公園で児童たちが明るくのびのび学習することが出来る環境つくりに励みたいと思います。

9)小菅ヶ谷小学校５年生(3クラス95名、教職員４名、保護者毎回８名前後)

＜活動概要＞田んぼNo.6(面積248㎡)

・活動回数:全11回(内２回は新型コロナウィルス感染防止のため中止。公園スタッフと保護者で2回実施)

・活動方針

① 学校として３年目の体験活動なので、前年度の課題等を生かし、新型コロナウィルス感染防止対策を取りながら学校と細部にわたり調整して活動を進めました。

② 「米作りを通して、農家の人の苦労や工夫を知る」「作物を育てるために必要な肥料や水などが自然の中で循環していることを知る」のねらいに則して体験できるよう努めました。

③ 保護者の皆さんには、コロナ禍の中で活動予定日が変更になったにも係わらず当日の活動の流れや意味を共有して協力いただきました。

＜まとめ＞

・今年度は、コロナ禍の中での2年目の活動であったが、田起しから始まり、代かき、田植え、田の草取り、稲刈り・はざ掛け、脱穀と一連の活動が感染予防策を取りながら実施できました。

・今年度も密を避けるために時間差で学級ごとの活動にしたところ、個々の活動がより充実した体験になり、学習成果的には良かったと思います。

・餅つきが中止になり、炊出しを予定しましたが、それも中止になったので、公園で収穫したもち米を児童が各家庭に持ち帰りました。そのもち米を使ったおこわやおはぎ等様々な料理の実践が見られたようです。

・総合学習のまとめとして、各学級で1年間の活動について発表会を実施したようです。
また、次年度活動予定の4年生に向けて米作り活動について発表する機会を作り、新5年生での米作り活動の動機付けになったようです。

・保護者による学校評価アンケートにおいては、教育ボランティアなど地域の人材を積極的に導入し、「まち」と協力して子どもを育てているという「地域連携」の項目で、95%もの高評価をいただきました。物づくりの喜びを感じたり、働く意欲を高めたりすることが期待されるとともに、通常接する担任とは異なる舞岡のスタッフから直接指導を受けたり、保護者と活動したりする中で、コミュニケーション力の向上を図ることにもつながっているということです。

・また、職業教育としてだけでなく、普段当たり前のように口にしている米にどれだけ手がかけられているかを認識することは、食育にもつながっていくということで、公園での体験学習が学校教育目標の「心豊かに　健やかに　学校大好き友だち大好き　やりぬく力」を育てることへの協力ができたことと思います。

10)舞岡小学校　5年生（ 2クラス 48名、教職員3名、保護者適宜）

＜活動概要＞　田んぼ No.31 （112 ㎡）

・活動回数：全11回の内10回（内訳：2クラス全員参加 10回）

・田んぼ体験活動は今年初参加です。

・事前に作業手順を学校に連絡して、先生、保護者に理解いただいたことで、作業内容、手順が周知され、混乱なく進めることができました。

・ネット張りは行なわないことにしたため、スタッフで草刈りを行ないました。

・餅つきを公園で行なう予定でしたが、新型コロナウィルス感染防止の点から中止としましたが、どうしても食べてみたいとの要望が強く、餅ではなく、黒米入のおこわを作って食べました。なお、その日は学校へ帰って給食も食べたとのことでした。

・スタッフは指導員2名、アシスタント2名の体制としました。保護者は毎回5～15名の多くの方に参加・協力いただきました。

＜まとめ＞

・新型コロナウィルス感染防止を考慮した1年間でしたが、米作り体験をできたと思います。

・年度初めの4月になってからの体験申込みでしたが、小谷戸の里から離れている瓜久保の田んぼが準備でき、体験となりました。また、保護者の協力で田んぼ足袋や道具を運搬し田んぼ足袋の洗い・干しも行なっていただき、先生、児童の皆さんは学校から瓜久保までの往復で時間短縮ができました。

・残念ながら、学校の方針で田んぼ体験は今年 1 年だけとなりました。

11)県立保土ヶ谷養護学校舞岡分教室（1 年生 15 名、2 年生 8 名、3 年生 14 名　38 名、教職員 12 名）

＜活動概要＞田んぼ No.8B（120 ㎡）

・活動回数：全 11 回（内 2 回は新型コロナウィルス感染防止のため中止。公園スタッフと教職員で 2 回、公園スタッフのみで1回実施）（炊出し、餅つき中止）

・活動方針

①米を栽培するための一連の作業を体験して学ぶという分教室の特徴あるねらいに沿って活動の実施に努めました。

②稲の成長を観察し、米を収穫する喜びを知るために、活動の前後に当日の活動の意味や流れについて生徒に話をする機会をもち、活動の深まりにつながるよう努めました。

＜まとめ＞

・今年度も、コロナ禍にて、感染拡大防止等、制約の多い中での1年間の米作りでした。代かき作業時恒例の、泥んこレースができたことは、楽しいひと時でした。

・「田んぼ学習」は、舞岡分教室においては就労に向けた作業学習の一環として行っており、働くことを学ぶ貴重な職業教育の場になっているということです。指示に従い作業に取り組むことを通じて、働くことの喜びを感じたり、働く意欲を高めたりすることが期待されるとともに、通常接する担任とは異なる舞岡のスタッフから直接指導を受けることにより、コミュニケーション力の向上を図ることにもつながっているということです。

・また、職業教育としてだけでなく、普段当たり前のように口にしている米にどれだけ手がかけられているかを認識することは、食育につながっていくということで、公園での体験学習が学校の求める学習効果に協力できているということです。

12)認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川

(アスリート10名、ファミリー13名、ボランティア12名)

＜活動概要＞　田んぼNo.13A(163㎡)

・活動回数:全10回

・スタッフ:指導員3名

・スペシャルオリンピックス(SO)とは、知的障害のある人たちにスポーツ活動を通して、彼らの自立と社会参加を支援する国際的なスポーツ組織で、スポーツ以外の取組みの一つとして、2018年度から米作り体験活動を行っています。知的障害者のアスリート、アスリートのご家族であるファミリー、アスリートを支援するボランティアの3者で構成されています。

・昨年度はコロナ禍で活動を見送ったため、2年ぶりの田んぼ活動となりました。

・当初は多くの大学生ボランティアの方の参加を予定していましたが、コロナ禍のため活動ができませんでした。一方で、アスリートとファミリー、大学生以外のボランティアの方々の毎回の参加により、一体感をもった活動ができました。

・活動日時が土曜日午後のため、夏の暑い日などは時間の調整や体調などを考慮しながら行いました。

＜まとめ＞

・アスリートを支えるファミリーやボランティアの方々の努力により楽しくけがの無い活動ができました。コロナの影響により餅つきができなかったことがたいへん残念でした。

・来期は、田んぼ以外の自然・農文化体験などに幅を広げた活動を考えています。

13)株式会社ゆたかカレッジ　横浜キャンパス(生徒25名、教職員3名)

＜活動概要＞　田んぼNo.10B　(60㎡)

・活動回数:　全11回

・スタッフ:指導員3名

・「ゆたかカレッジ」とは18歳以降の障害のある青年たちが、社会で活躍する力をつけるための4年制の「福祉型カレッジ」です。全国にキャンパスがあり、戸塚を拠点とする横浜カレッジが2019年度から新一年生のプログラムとして田んぼ活動を行っています。

・田んぼ体験をすることによって第一次産業に対する理解を深め、共同で様々な作業を行うことによって他者や自己に対する理解を深めることをねらいとしています。

・田んぼ体験が初めてということで、最初は田んぼに入ることも躊躇していましたが、後半はみな楽しそうに泥だらけになりながら作業を行えるようになりました。また、回を重ねるにつれ、体力がついたりコツをつかんだりして田んぼでの活動が上手になったようです。

＜まとめ＞

・谷戸田特有の湿田に毎年苦労をしていますが、教職員とのコミュニケーションを重ね、作業時間に余裕をもたせる、ひとりひとりの学生の体力にあわせた活動など、作業内容を工夫しながら田んぼ活動を行っています。

・田んぼ体験だけでなく、畑や雑木林や自然体験や農文化体験など公園全体を活用して学生たちの今後の社会生活への貢献につながることができないかを検討しています。

14) 舞岡こめこめクラブ（舞岡地区センターが募集）

（ボランティア登録者：28 家族・地区センター職員：3 名）

＜活動概要＞

・田んぼ№.28 d （95 ㎡）　スタッフ 2 名

・活動回数：全 11 回（内 2 回は新型コロナウィルス感染防止により、田の草とり等、スタッフにて実施）　（炊出し、餅つき）→中止

・活動方針

① 「安全第一」を指針とした、活動の取り組み。 安全朝礼実施による、安全確保（子どもを守る）。

② 一年間の米作りを、それぞれの家族・親子が協働して、一連の作業を体験する。

③ 循環型農業（「一年間の米作り」・イラスト等 資料の活用）

稲の成長を観察し、米を収穫する喜びを知るために、当日の活動の意味や流れについて、それぞれが話をする機会を作り、活動の深まりに努めた。

＜まとめ＞

今年度もコロナ禍にて、感染拡大防止等、制約の多い中での米作りでした。28 家族（多人数）での作業には、時差作業・グループ分け等の対策にて実施、苦労しました。 次年度は、ボランティア数に適応したした田んぼ に（№28 d →№13a）移動します。今年度できなかった、わら細工等も実施したいと思います。

(2) 自然観察

南舞岡小学校 4 年生（1 クラス 30 名、教職員 2 名）

＜活動概要＞

月日	曜	内容	学習時間
6/16	水	生きものと人間の生活	9:30～11:30
6/23	水	田んぼの生きものを観察しよう	9:30～11:30
7/7	水	夜の里山の生きものを観察しよう	18:50～20:15
9/28 9/29	火 水	木の実・草の実を観察しよう ＊小学校の分散登校により 2 回に分けて実施	9:30～11:30
1/26	水	生きものの冬越しの姿を観察しよう	9:30～11:45

＜まとめ＞

・舞岡公園の豊かな自然の中でその季節ならではの生きものを観察しました。実物を見たり触ったりすることにより、生きものの知恵の素晴らしさや人間と自然との深い関係をより身近に感じたり考えたりすることができたことと思います。

（3） 古民家説明　（対応小学校：24 校）

小学 3 年生の社会科見学で舞岡公園を訪れる学校が、例年は 50 校ほどあります。しかし、今年度も新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から校外学習を見合わせた学校が多く、24 校への対応となりました。「昔の暮らし」の学習が中心ですが、茅葺屋根や家のつくり、藁や竹でできている生活用品、家屋を守るための燻蒸の仕組みなど、昔から受け継がれてきた人々の工夫や知恵に目を輝かせて学習していました。稲わらを生活用品に活用した後、堆肥として田んぼに返し、再び新しい作物の生育につなげる循環の仕組みを知ることにより、自分たちの生活を見直すきっかけにしてほしいと願っています。

（4）生物多様性維持保全活動

南舞岡小学校６年生（１クラス３０名　　教職員１名）

＜活動概要＞

月・日	曜	内　　容	学習時間
10/21	木	体験「外来植物防除」 セイタカアワダチソウを中心に除草	10:45～11:45
10/26	火		
10/28	木		
11/2	火	体験「かっぱ池の水生外来生物防除と在来生物の観察」	10:45～12:30
12/1	水	座学「舞岡公園の在来生物」	10:40～11:35
1/31	月	体験「落ち葉かき」	10:45～11:45

＜まとめ＞

・6年生の総合的な学習の時間の中で「6年間親しんだ舞岡公園のことをもっと知り大好きな舞岡公園のために役立つことをしたい」との声が上がり、6月頃からの調査活動を経て、10月から外来種防除の活動に取り組んでくれました。

・計4回の実践活動と1回の座学により、外来種の広がりを防ぐことの難しさを実感し、日々、防除に取り組むスタッフやボタンティアの活動を知って、自分たちの故郷でもある舞岡公園への思いが深められたようです。小学校を卒業すると来園の機会は減ると思われますが、いつかまた、強力な助っ人ボランティアとして戻ってきてくれることと期待しています。

（5）体験学習

①明治学院大学国際学部「環境学原論」ボランティア活動：学生 30 名、教員 1 名

令和 3 年 5 月 1 日～令和 3 年 7 月 11 日

②国際動物専門学校インターンシップ

令和 3 年 5 月 31 日（月）～6 月 12 日（土）：学生1名

③神奈川県立金沢総合高校「産業社会と人間」働く人にインタビュー

令和 3 年 11 月 2 日（火）13:30～14:40　：生徒 5 名

④横浜市立永谷小学校　わら細工（縄ない）体験

令和 3 年 12 月 16 日（水）：5 学年児童 83 名、教職員 3 名

⑤神奈川県立舞岡高校科学部竹炭焼き体験

令和 3 年 12 月 12 日（日）：生徒 7 名、教職員 1 名　　12 月 18 日（土）：生徒 9 名、教職員 1 名

12 月 24 日（金）：生徒 4 名、教職員 1 名

⑥神奈川県立舞岡高校科学部門松製作・設置支援

令和 3 年 12 月 24 日（金）：生徒 9 名、教職員 1 名

⑦横浜市立日限山小学校　わら細工（縄ない）体験

令和 4 年 1 月 13 日：5学年児童 90 名、保護者 15 名、教職員 4 名

⑧横浜市立倉田小学校　わら細工（縄ない）体験

令和 4 年 1 月 24 日：5学年児童 80 名、保護者 15 名、教職員 1 名

16. 教育機関以外の交流・体験・研修

①戸塚区地域づくり大学校「活動現場訪問」：受講生 10 名　スタッフ 3 名

令和 3 年 11 月 6 日（土）10:00～12:00

②とつかお結び広場

令和 3 年 11 月 30 日（火）～令和 3 年 12 月 5 日

舞岡公園の活動紹介パネル出展

17. その他の活動(いろいろボランティア)

(1)水車回し隊 (15 回：64 人　　対応小学校：12 校)

平日の小学 3 年生を対象に運転をしました。例年は、年間 40 回以上ある教育機関への対応ですが、今年度も新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から減少。12 校の児童約 910 名に対応しました。

水車の上部から水を流し、羽根車の水受け板に水が溜まりその重さで、ゴロンと回り出す瞬間を間近で見たこども達の目の輝きに元気をもらい、普段の生活では味わえない楽しさを感じながら、和気あいあい楽しく取り組みました。

様々な事業で欠かせない米ですが、水車で行うのは、①籾から玄米にする ②玄米から白米にする(搗き臼で搗く) ③白米を粉にする(石臼で挽く)という3工程です。

活動月	活動回数(回)	活動人数(人)	教育機関(校)	活動月	活動回数(回)	活動人数(人)	教育機関(校)
4月	1	3	0	10月	3	14	3
5月	0	0	0	11月	2	8	2
6月	1	6	0	12月	1	6	1
7月	0	0	0	1月	4	16	4
8月	0	0	0	2月	3	12	2
9月	0	0	0	3月	0	0	0

(2)古民家ボランティア (271 回 :278 人)

主屋の燻蒸を行いました。2 名のベテランボランティアに加え、新しく 1 名が参加。朝 10 時前には竈に火が入り、午後 2 時頃には火の始末をして帰ります。

火を直に見たり温かさを感じたりできると、来園者からはとても喜ばれる上に、その煙が虫やカビから屋根の茅を守ってくれます。 時には、社会科見学の小学 3 年生に古民家の仕組みを説明し、喜ばれました。また、来園者に独楽や竹トンボなど昔遊びを楽しんでいただくために、アドバイスや見守りもしました。

＊納屋も茅葺きなので燻蒸は欠かせませんが、こちらは雨の日に事務局でドラム缶を使って対応しています。

(3)休日谷戸番ボランティア (11 回:12 人)

作業ボランティアがたくさん来園する日曜日に、田んぼ足袋の場所や貴重品の事、荷物の置き方や手続き等の案内をします。例年、日によっては 100 人以上が、田んぼや畑や雑木林等の活動や各種イベントのために来園しますので、安全確保等にも欠かせない活動です。

(4)通信「舞の里だより」発送折りっこボランティア(11 回 ： 59 人)

年 11 回発行する「舞の里だより」を、1 回につき約 2200 枚印刷します。その折りと封入作業のボランティアです。各回 2～7名で 1 時間 30 分ほどの作業を行いました。

(5)薪割ボランティア(8 回 ： 37 人)

小谷戸の里にきれいに積まれた薪は、里山の風情になっています。例年、年間およそ300回(古民家燻蒸約200回、炊出し約100回)焚く薪の準備のため、月1～2回、無心で斧を振りおろします。きれいに割れた薪は気持ちよく燃えます。

今年度もコロナ禍で収穫祭や炊出しが中止になり、薪の需要が減ったために活動の機会が少なくなってしまいました。

(6) 竹炭焼きボランティア（9 回 ： 36 人）

今年度は、コロナ禍ではありますが、感染防止に努めながら3回竹炭焼きを実施することができました。火入れ前に窯詰め、炭焼き後に窯出し作業があり、実質 9 日間の活動でした。かなり乾燥した炭材163kgから、35．7kgの竹炭を作りました。また、舞岡高校の竹材を利用し、科学部生徒の竹炭焼き体験を実施しました。

(7) 田んぼ活動を支えるボランティア

①ネットの繕い（27 回 ： 118 人）

出穂から稲刈りまでの約 3 か月間田んぼに張り続けた防鳥ネットは紫外線で劣化したり強風で穴が空いたり破けたりします。これらの穴をひとつひとつ糸で括りながら丹念に繕いました。地道な根気のいる作業です。

②農具の点検修理（約 46 回 ： 76 人）

楔が抜けた鍬や柄が折れた鎌、田植え道具、脱穀用具などの補修を行いました。

③わら縄作り（18 回 ： 19 人）

稲架つくりなどの田んぼ作業に欠かせないわら縄を作りました。昔の農家は冬季農閑期作業として納屋や母屋の炉端で作っていましたが、舞岡公園では納屋の足ふみ式縄ない機で毎年 15 巻程を作っています。

(8)生物記録ボランティア（随時）

様々な制約がある中で根気の要るボランティア。盗掘や持ち去り等へ波及しないように細心の注意を払いながらの地道な活動です。信頼性の高い情報に、谷戸の生態系維持管理は支えられています。

生物記録以外にも野鳥観察ポイントの柵補修や湿地の手入れを行いました（11/4・11/5：計 30 名参加）。

ヤマラッキョウ

ヤマシギ

18. 組織の運用

若い家族の登録参加が年々増え、田んぼ体験活動が活発になっているのは喜ばしいことですが、現場でコーディネートするスタッフは、年々減少しています。谷戸学校受講生を増やし若手スタッフを育成することが重要課題となっています。

今年度もベテラン指導員がスタッフ養成講座「谷戸学校」に関わり、舞岡公園の魅力や舞岡公園流の活動の進め方を伝えました。その結果、谷戸学校 28 期修了者から 7 名が準指導員になりました。

令和 3 年度は、新型コロナウィルス感染拡大防止対応のため多くの事業を中止しましたが、舞岡公園自然体験施設（文化体験施設併用）の指定管理者として年間 2000 以上の事業を無事終えることができました。

【人数の推移】

	29 年度	30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
舞スター	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名
一芸	6 名	5 名	7 名	9 名	9 名
指導員	17名	20 名	18 名	17 名	17 名
準指導員	10 名	8 名	6 名	8 名	9 名
アシスタント	26 名	29 名	23 名	19 名	25 名

19. 満足度調査（CSR活動）

＜CSR 活動の一環としてアンケートの実施＞

新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から多くのイベントが中止となり、今年度、公募により催行できたイベントはわら細工4回、竹細工4回、公開田植え体験、公開稲刈り体験、肝試し、鏡餅作り、こども書初め会の全 13 回。参加者 246 組（535 名）にアンケート式の満足度調査を行いました。総回収数は 194 枚。満足度平均は 100%でした。

20. スタッフの教育・訓練の実施

月日	テーマ名	受講者数
6/29	公共建築物シックハウス対策説明会	1 名
11/17	公園樹木点検研修	2 名
3/22	個人情報保護に関する研修	17 名
3/22	人権啓発研修「障害のある人と人権」	17 名
3/22	自主防災訓練	17 名
3/27	個人情報保護に関する研修	23 名

21. 特記事項

(1)企業からのご支援

「株式会社ブリヂストン様」と「ちょボラ募金様」より、60万円をご寄付いただききました。平成26年度より 8 回目のご支援となります。活動支援金として活用させていただきました。感謝申し上げます。

(2)横浜市によるタイワンリスの計画防除への協力

捕獲期間:令和 3 年 12 月 19 日～3 月 25 日　(罠 5 基) 捕獲数 12 匹

罠檻設置期間中は当法人が巡視を行い、市の委託業者が罠の設置と処分を行いました。

(3)アライグマ自主防除

捕獲機関:令和 3 年 4 月 27 日～令和 4 年 3 月 31 日　(罠 4 基)　捕獲数 15 匹

(4)横浜市による補修・改修工事等(指定管理エリアのみ記載)

・水車小屋改修工事　令和 3 年 12 月 1 日・2 日

・水道工事(配管更新・漏水点検等)　令和 4 年 1 月～令和 4 年 3 月

・園路改良工事(南門～大原谷戸池)　令和 4 年　1 月～令和 4 年 3 月

1.事業実施数集計

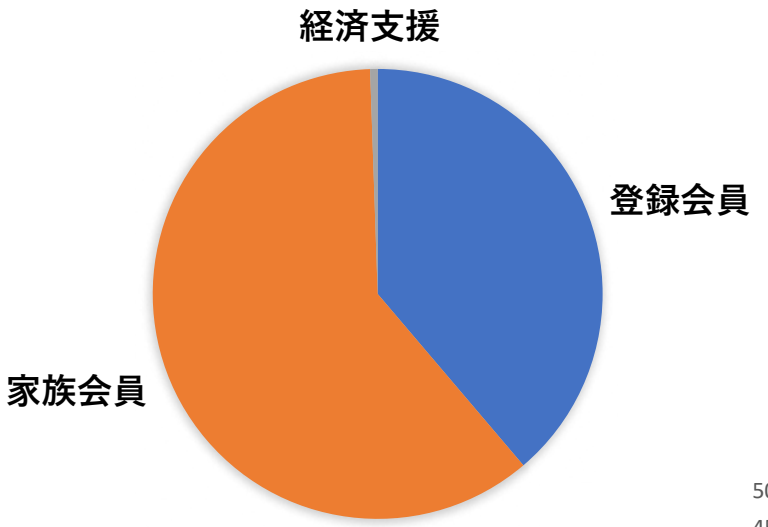
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
田んぼ	塩水選・苗代	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	11
	荒起こし・田起こし	20	4	0	0	0	0	2	6	1	0	0	14	47
	代かき	1	21	5	0	0	0	0	0	0	0	0	4	31
	苗取り・田植え	0	30	27	3	0	0	0	0	0	0	0	0	60
	草刈り・草取り	0	3	20	32	11	3	0	0	0	0	0	0	69
	ﾈｯﾄ掛け・水抜き	0	0	0	5	15	8	0	0	0	0	0	0	28
	稲刈り・稲架作り	0	0	0	0	1	17	24	0	0	0	0	0	42
	脱穀・ネット収納	0	1	0	0	0	7	18	11	1	0	0	0	38
	堆肥・水路・畦	9	2	0	0	1	0	0	1	5	9	13	14	54
	炊き出し・餅つき	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
	案山子	0	0	0	0	6	8	0	2	0	0	0	0	16
	ネット補修	3	2	4	7	0	0	2	3	1	0	0	5	27
	その他（部会含）	23	16	22	34	17	22	21	35	9	17	15	22	253
	小計	62	80	79	81	51	65	67	58	20	26	28	62	679
青少年育成	学校等体験（幼～大）	8	28	21	23	11	15	15	10	5	2	2	6	146
	こども谷戸教室	1	2	1	1	1	0	2	0	1	1	0	1	11
	親子自然教室	2	1	1	3	0	0	2	0	1	0	0	0	10
	その他（部会含）	9	6	0	0	1	5	4	3	3	3	4	3	41
	小計	20	37	23	27	13	20	23	13	10	6	6	10	208
畑	畑作業	10	7	8	8	7	6	8	10	6	6	4	6	86
	その他（部会含）	2	3	4	1	6	4	2	6	6	1	1	6	42
	小計	12	10	12	9	13	10	10	16	12	7	5	12	128
雑木林	間伐・除伐	3	0	1	2	0	0	0	0	1	6	4	0	17
	下草刈り	0	0	1	1	3	4	5	6	2	0	0	0	22
	炭焼き一連	1	7	9	1	0	0	0	0	1	0	1	6	26
	その他（部会含）	1	2	3	1	1	1	1	1	1	0	1	1	14
	小計	5	9	14	5	4	5	6	7	5	6	6	7	79
環境生物	自然観察会	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	5
	その他（部会含）	2	1	2	2	2	3	2	2	1	1	1	1	20
	小計	2	1	2	2	2	3	3	3	2	2	1	2	25
農芸	農芸ｲﾍﾞﾝﾄ	1	0	0	1	0	0	0	1	4	0	0	1	8
	その他（部会含）	3	3	1	5	21	3	3	9	1	2	3	2	56
	小計	4	3	1	6	21	3	3	10	5	2	3	3	64
多様性生物	外来生物防除	2	3	2	1	1	0	2	2	1	0	0	1	15
	保全種保護作業（みち草）	4	3	2	1	0	2	3	3	2	0	0	3	23
	保全種保護作業（やっとCo）	0	2	1	0	0	0	0	0	7	0	0	0	10
	地域連携（明学）	0	0	6	5	0	0	2	4	11	1	1	2	32
	生物多様性部門作業	3	1	2	0	3	2	1	0	1	0	0	2	15
	ホタル調査	0	0	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0	8
	その他（部会含）	4	4	2	5	1	3	0	1	1	0	1	0	22
	小計	13	13	19	15	5	7	9	10	23	1	2	8	125
農文体	古民家事業（ｲﾍﾞﾝﾄ）	0	0	0	1	0	1	1	1	8	3	3	2	20
	水車回し隊	1	0	1	0	0	0	3	2	1	4	3	0	15
	古民家説明	0	0	0	0	0	0	5	4	2	3	4	5	23
	その他	1	1	0	1	0	0	2	0	0	2	1	1	9
	小計	2	1	1	2	0	1	11	7	11	12	11	8	67
小谷戸屋製品作り	竹炭焼き	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	1	8
	藁製品	15	8	15	15	17	14	9	9	16	13	16	11	158
	竹製品	18	12	18	18	16	20	21	20	19	16	18	19	215
	その他製品	0	1	1	4	10	10	11	2	0	0	0	0	39
	小計	35	21	36	37	43	44	41	31	36	29	36	31	420
維持作業	薪割り	0	2	2	0	0	0	0	2	1	1	0	0	8
	休日谷戸番	3	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	11
	古民家ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	24	22	20	21	13	24	24	26	24	22	25	26	271
	維持作業ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	5	5	3	8	1	0	1	2	3	4	9	5	46
	縄ない	2	0	0	0	0	0	0	1	1	3	5	6	18
	その他	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	5
	小計	35	31	27	30	18	26	26	31	29	30	39	37	359
谷戸学校		6	4	4	4	2	4	2	2	4	4	4	4	44
お琴		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
里だより（年11回/折っこ）		1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	11
里山の宝ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議	指連会	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	7
	田園部門会議	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	6
	理事会	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	8
	その他会議	1	1	3	3	0	0	3	3	5	0	2	4	25
	小計	4	3	6	4	2	0	6	4	8	0	4	5	46
来園者	体験研修交流	0	1	8	0	0	0	3	3	1	2	0	0	18
	水車見学（小学校）	0	0	0	0	0	0	3	2	1	4	2	0	12
	水車見学（一般来園者）	1	0	1	0	0	0	3	1	1	0	1	0	8
	古民家説明	0	0	0	0	0	0	5	4	2	4	4	5	24
	ﾋｱﾘﾝｸﾞ・視察・調査等	0	0	1	2	3	1	2	2	0	0	2	2	15
	取材・報道・撮影	1	1	1	0	0	1	4	0	0	1	1	0	10
	遠足等の来園者	7	16	6	2	0	5	12	27	3	0	3	2	83
	古民家入館者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	9	18	17	4	3	7	32	39	8	11	13	9	170
	合計	210	232	242	227	178	196	240	231	174	137	159	199	2,425

2.活動参加者数集計

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
田んぼ	塩水選・苗代	51	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	4	67
	荒起こし・田起こし	456	61	0	0	0	0	33	108	16	0	0	127	801
	代かき	9	481	49	0	0	0	0	0	0	0	0	31	570
	苗取り・田植え	0	404	221	3	0	0	0	0	0	0	0	0	628
	草刈り・草取り	0	7	123	417	112	3	0	0	0	0	0	0	662
	ﾈｯﾄ掛け・水抜き	0	0	0	82	154	118	0	0	0	0	0	0	354
	稲刈り・稲架作り	0	0	0	0	10	246	461	0	0	0	0	0	717
	脱穀・ネット収納	0	12	0	0	0	150	272	120	4	0	0	0	558
	堆肥・水路・畦	29	13	0	0	1	0	0	8	51	89	151	177	519
	炊き出し・餅つき	0	0	0	0	0	0	0	0	59	0	0	0	59
	案山子	0	0	0	0	49	21	0	17	0	0	0	0	87
	ネット補修	14	11	16	18	0	0	10	17	5	0	0	27	118
	その他（部会含）	23	19	49	40	29	41	33	75	17	28	24	37	415
	小計	582	1,009	469	560	355	579	809	345	152	117	175	403	5,555
青少年育成	学校等体験（幼～大）	443	1,514	530	571	99	339	820	455	209	48	55	125	5,208
	こども谷戸教室	35	67	33	30	24	0	65	0	13	19	0	19	305
	親子自然教室	59	61	62	45	0	0	58	0	51	0	0	0	336
	その他（部会含）	19	26	0	0	1	10	4	8	5	4	7	5	89
	小計	556	1,668	625	646	124	349	947	463	278	71	62	149	5,938
畑	畑作業	117	84	91	79	80	66	103	126	75	75	46	70	1,012
	その他（部会含）	12	3	16	8	15	13	13	13	13	8	8	18	140
	小計	129	87	107	87	95	79	116	139	88	83	54	88	1,152
雑木林	間伐・除伐	19	0	8	11	0	0	0	0	6	58	56	0	158
	下草刈り	0	0	7	11	36	26	35	36	19	0	0	0	170
	炭焼き一連	10	77	45	9	0	0	0	0	9	0	10	53	213
	その他（部会含）	5	8	11	4	6	7	7	10	8	0	13	10	89
	小計	34	85	71	35	42	33	42	46	42	58	79	63	630
環境生物	自然観察会	0	0	0	0	0	0	8	10	13	14	0	15	60
	その他（部会含）	9	6	14	9	6	13	7	6	3	6	3	4	86
	小計	9	6	14	9	6	13	15	16	16	20	3	19	146
農芸	農芸ｲﾍﾞﾝﾄ	36	0	0	51	0	0	0	34	216	0	0	46	383
	その他（部会含）	27	38	13	32	66	33	18	41	10	26	19	17	340
	小計	63	38	13	83	66	33	18	75	226	26	19	63	723
多様性生物	外来生物防除	8	12	9	4	1	0	5	10	8	0	0	3	60
	保全種保護作業（みち草）	24	14	8	4	0	6	7	9	9	0	0	8	89
	保全種保護作業（やっとCo	0	9	3	0	0	0	0	0	24	0	0	0	36
	地域連携（明学）	0	0	32	18	0	0	60	62	53	26	3	34	288
	生物多様性部門作業	3	1	5	0	4	2	1	0	1	0	0	2	19
	ホタル調査	0	0	32	24	0	0	6	0	0	0	0	0	62
	その他（部会含）	24	14	13	22	4	19	0	4	8	0	5	0	113
	小計	59	50	102	72	9	27	79	85	103	26	8	47	667
農文体	古民家事業（ｲﾍﾞﾝﾄ）	0	0	0	41	0	1,107	1,108	1	73	154	11	4	2,499
	水車回し隊	3	0	5	0	0	0	14	8	6	16	12	0	64
	古民家説明	0	0	0	0	0	0	5	4	2	3	4	5	23
	その他	1	51	0	9	0	0	10	0	0	2	1	1	75
	小計	4	51	5	50	0	1,107	1,137	13	81	175	28	10	2,661
製品作り小谷戸屋	竹炭焼き	6	0	7	0	0	0	0	0	4	0	8	5	30
	藁製品	15	8	15	15	19	14	9	11	18	13	16	11	164
	竹製品	19	14	23	22	20	22	22	21	19	19	22	26	249
	その他製品	0	1	1	4	10	10	11	2	0	0	0	0	39
	小計	40	23	46	41	49	46	42	34	41	32	46	42	482
維持作業	薪割り	0	9	6	0	0	0	0	13	4	5	0	0	37
	休日谷戸番	4	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	12
	古民家ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	24	24	21	21	15	25	24	27	24	22	25	26	278
	維持作業ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	5	5	3	8	1	0	1	32	3	4	9	5	76
	縄ない	2	0	0	0	0	0	0	2	1	3	5	6	19
	その他	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	5
	小計	36	40	32	30	20	27	26	74	32	34	39	37	427
谷戸学校		92	73	60	59	25	59	25	28	50	54	57	60	642
お琴		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
里だより（年11回/折っこ）		6	5	5	7	3	2	7	0	6	4	7	7	59
里山の宝ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議	指連会	22	25	22	0	0	0	20	21	22	0	0	23	155
	田園部門会議	13	0	11	0	6	0	12	0	10	0	12	0	64
	理事会	13	12	13	12	9	0	9	0	13	0	13	0	94
	その他会議	12	6	25	34	0	0	14	38	31	0	10	35	205
	小計	60	43	71	46	15	0	55	59	76	0	35	58	518
来園者	体験研修交流	0	1	10	0	0	0	33	21	1	30	0	0	96
	水車見学（小学校）	0	0	0	0	0	0	281	161	69	242	157	0	910
	水車見学（一般来園者	42	0	26	0	0	0	121	160	20	34	40	0	443
	古民家説明	0	0	0	0	0	0	456	293	203	242	361	299	1,854
	ﾋｱﾘﾝｸﾞ・視察・調査等	0	0	1	17	9	5	13	15	0	0	11	12	83
	取材・報道・撮影	1	1	1	0	0	1	7	0	0	4	1	0	16
	遠足等の来園者	313	2,170	1,428	85	0	790	843	2,761	166	0	63	54	8,673
	古民家入館者	153	131	113	48	125	195	86	124	68	125	213	107	1,488
	小計	509	2,303	1,579	150	134	991	1,840	3,535	527	677	846	472	13,563
	合計	2,179	5,481	3,199	1,875	943	3,345	5,158	4,912	1,718	1,377	1,458	1,518	33,163

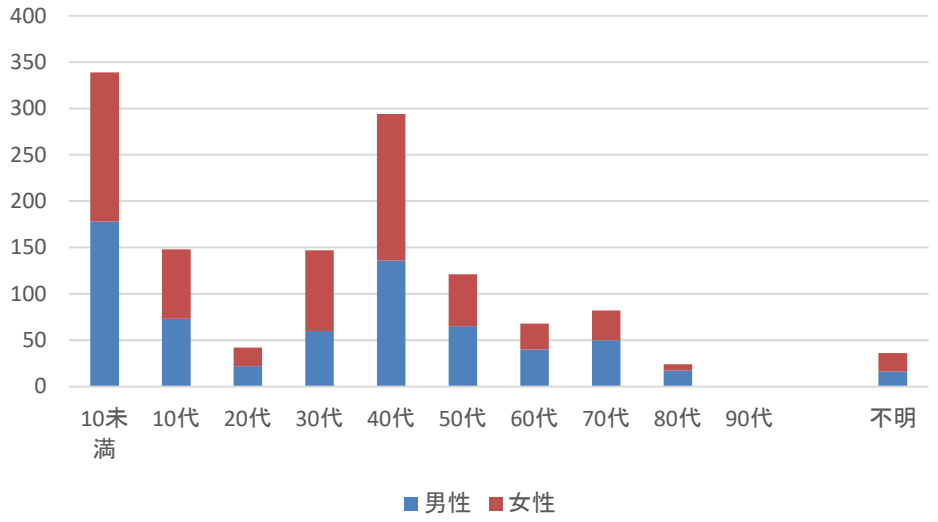
3 令和３年度登録者内訳

会員種類別

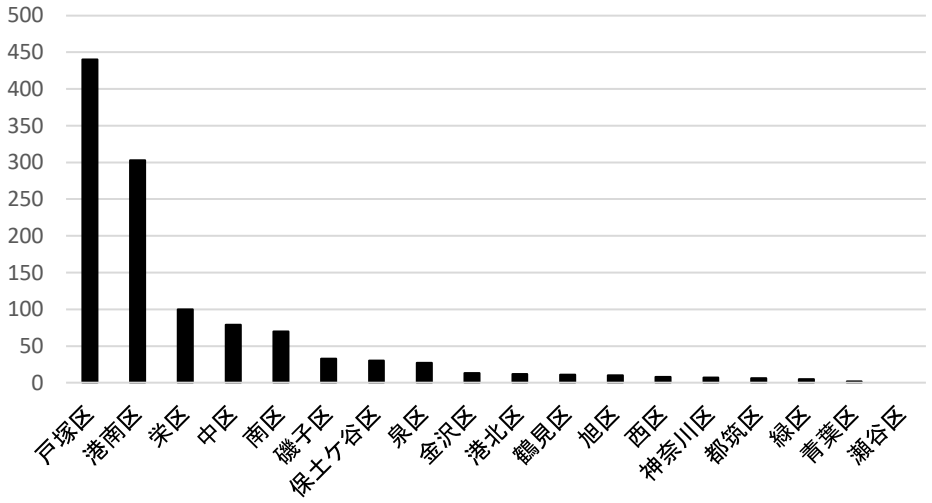


登録代表者	505	1302
家族会員	790	
経済支援	7	

年代別



横浜市区別



市外	
藤沢市	30
鎌倉市	28
川崎市	14
大和市	7
横須賀市	6
茅ヶ崎市	4
逗子市	4
海老名市	4
相模原市	2
平塚市	1
三浦市	1
厚木市	1
大磯町	1
湯河原町	1

5. 古民家入館者・遠足等来園者数記録

月	古民家入館者数(人)（任意記入）	遠足等の来園者数		
		人数（人）	学校・団体数	学校・団体名等
4	153	313	7	舞岡保育園、飯島保育園、かさまの杜保育園、日野幼稚園、戸塚ルーテル保育園、グローバルキッズ戸塚園、大船ルーテル保育園、飯島ルーテル保育園、飯島東こども園、バディスポーツ幼児園、戸塚ほしの木保育園、ポピンズナーサリースクール、アメリカ山徳育保育園、上永谷西保育園、戸塚ふよう保育園、ベネッセ本郷台保育園、野庭聖佳幼稚園、小菅ヶ谷幼稚園、戸塚ふたば幼稚園、舞岡幼稚園、たけのこ幼稚園、鎌倉女子大幼稚部、すみれ幼稚園、静心幼稚園、新大船幼稚園、なかの幼稚園、しらぎく幼稚園、秋葉幼稚園 倉田小、東汲沢小、舞岡小、小菅ヶ谷小、永野小、日限山小、東戸塚小、南舞岡小、小山台小、豊田小、公田小、日野小、西本郷小、日枝小、丸山台中、日限山中、金沢総合高校 学童くぬぎの家、ゆたかカレッジ横浜、栄歩け歩け協会横浜、ボーイスカウト横浜、あーすぷらざ、いずみ健康ウォーククラブ、横浜市交通局、こどもは描く、藤沢市科学少年団、市退協、金井幼稚園お父さんの会、ひぎり連合自治会
5	131	2,170	16	
6	113	1,428	6	
7	48	85	2	
8	125	0	0	
9	195	790	5	
10	86	843	12	
11	124	2,761	27	
12	68	166	3	
1	125	0	0	
2	213	63	3	
3	107	54	2	
合計	1,488	8,673	83	
備考	来館者記録紙に記入された人数	事前届出のあった学校・団体数・人数を集計。この他にも遠足・ハイキング等の学校・団体や一般者がたくさん来園した。活動案内や体験は別表に集計。		

6. 通年で体験した教育機関等

	学校等名	対象者	内容	田んぼ番号	生徒数(人)	教職員数(人)
1	金井幼稚園	年長4クラス	田んぼ作業	12	74	4
2	もみの木園	2～6歳	田んぼ作業	8A	20	2
3	YMCAとつか保育園	年長クラス	田んぼ作業	3C	30	5
4	ポピンズナーサリースクール（3園合同）	年長ｸﾗｽ	田んぼ作業	4B	30	10
5	南舞岡小学校	5年生2ｸﾗｽ	田んぼ作業	1A	46	2
6	日限山小学校	5年生3ｸﾗｽ	田んぼ作業	5	91	4
7	小菅ヶ谷小学校	5年生3ｸﾗｽ	田んぼ作業	6	95	4
8	舞岡小学校	5年生2ｸﾗｽ	田んぼ作業	31	48	3
9	保土ヶ谷養護学校舞岡分教室	高校1～3年	田んぼ作業	8B	38	12
10	ゆたかカレッジ	高校１年	田んぼ作業	10B	25	3
11	ｽﾍﾟｼｬﾙｵﾘﾝﾋﾟｯｸｽ日本・神奈川	アスリート	田んぼ作業	13A	10	ﾌｧﾐﾘｰ13 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ12
12	南舞岡小学校	4年生１ｸﾗｽ	自然観察会		30	2

＊ 園児・生徒の保護者も作業に参加しているが、この表には含まれていない

7. 体験(1回～不定期)・研修・交流

月日	団体名		内容	人数(人)
5/31～6/12	国際動物専門学校生	研修	インターンシップ実習	1
6/15～7/11	明治学院大学国際学部環境学原論	体験	ボランティア活動	30
11/2	神奈川県立金沢総合高校	体験	働く人にインタビュー	18
10/19	南部公園緑地事務所	体験	公園樹林地保全管理計画ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ研修	22
10/21～1/31	南舞岡小学校（６年生）	体験	総合学習「舞岡公園」外来種防除・落ち葉かきなど	30
11/6	戸塚区民活動センター	体験	戸塚区地域づくり大学校	14
11/29	明治学院大学	体験	畑作業体験	7
11/30	南舞岡小学校（６年生）	交流	４０周年記念インタビュー	8
11/30～12/5	とつかお結び広場（WEB会場）	交流	活動紹介	不明
12/12・18・24	神奈川県立舞岡高校科学部	体験・交流	竹炭焼き・門松製作・設置支援	23
12/16	永谷小学校	体験	総合学習「稲わらの活用」	83
1/13	日限山小学校	体験	総合学習「稲わらの活用」	90
1/24	倉田小学校	体験	総合学習「稲わらの活用」	80
計	13件			406

8. 取材・報道・撮影

月日	団体名	内　容	
4/15	タウンニュース	報道	こいのぼり撮影
5/4	FMよこはま	報道	LavelyDay　五月人形・鯉のぼり
6/25	タウンニュース	報道	竹細工「水鉄砲・竹ぽっくり」
9/23	タウンニュース	報道	案山子まつり
10/6	J:COM	報道	案山子まつり
10/14	ヨコハマアートサイト	報道	季刊誌　案山子まつり・ボランティア活動
2/26	はまかぜ新聞社	取材	ゆったりのびのび舞岡さんぽ
計	7 件		

9. 古民家説明・水車見学

月日	団体名	人数(人)
10/7	南台小	112
10/15	汲沢小	92
10/29	南太田小	71
10/29	南吉田小	118
10/29	浅間台小	63
11/8	横浜英和青山学院小	69
11/18	初音ヶ丘小	102
11/19	中村小	49
11/29	山元小	63
12/7	東汲沢小	69
12/8	汐見台小	134
1/14	西本郷小	79
1/18	野庭すずかけ小	39
1/20	舞岡小	65
1/21	上大岡小	59
2/3	東俣野小	57
2/8	桜岡小	100
2/18	下野庭小	87
2/24	日枝小	117
3/4	岡津小	79
3/4	東俣野特別支援学校	2
3/8	芹が谷南小	54
3/11	川上北小	113
3/14	平戸台小	46
計	**24件**	**1839**

10. 視察・ヒヤリング・調査

月日	団体名	人数(人)
7/16	横浜市環境科学研究所	2
7/25	横浜市みどりアップ推進課	15
8/5	山形大学	4
8/20	横浜市環境科学研究所	2
9/9	神奈川県誌横浜植物会	5
10/28	神奈川県誌横浜植物会	5
10/22・29	戸塚区基幹相談支援センター	8
1/9	横浜をつなげる30人「ままmaioka]	5
2/3	山形大学	4
2/28	山形大学	7
計	10 件	57

11. 貸出・提供

（件）

	貸出/提供先	教育機関	市民団体・企業	行政機関	計
貸出	籾摺り機	0	0	0	1
	その他道具	1	0	0	

12. 古民家ノート及びご意見箱に記載されていた利用者の声

（件）

			第１四半期	第2四半期	第３四半期	第４四半期	年計
称賛	古民家	古民家設備	0	0	1	1	2
		展示品・備品・遊具	0	0	0	2	2
		維持作業	3	1	0	3	7
	田んぼ等の自然体験施設	景観・設備	2	2	1	5	10
	活動やスタッフの対応		0	1	6	1	8
	楽しい・懐かしい・ゆっくりできた等		2	1	0	3	6
	小計		7	5	8	15	35
苦情・意見・要望*			15	15	7	14	73
その他			7	8	2	3	20
合計			29	28	17	32	128

＊要望意見等の内容　　（　）：直接の対応・回答

1 自転車が園路をスピードを出して走っていて危険。（「ゆっくり走行お願い」看板を東南北の各門と小谷戸瓜久保に掲示）

2 イベント受付電話がなかなかつながらない。つながった時には定員いっぱいになっていた。人気のイベントは抽選にしてほしい。同様の要望は複数有り（人気イベントは往復はがきでの申込みに変更した）

3 初めて公園に行ったが道が分かりづらい。園内に標識があるとよい。

4 南の丘のスダジイに説明の看板を付けてほしい。（南部公園緑地事務所へ連絡）

5 尾根道にタバコの吸い殻が多数落ちている。禁煙の看板を出してほしい。

6 スズメバチの巣がある。南の丘・瓜久保・狐久保。（南部公園緑地事務所へ連絡。人止めのロープ柵と注意喚起の看板を設置）

7 アルコールスプレーを大戸門の入り口に置いてはどうか。（古民家・事務所・情報館入口、ボランティア受付名簿横、イベント受付等、必要に応じて随所に設置済み）

8 わら細工・竹細工イベントは対象年齢を明記してほしい。（小学生以下は保護者同伴での募集になっている。申込み受付時に情報提供する。）

9 宮田池前にベンチを設置してほしい。同様の要望は複数回有り。（南部公園緑地事務所へ連絡）

10 階段全てに手すりを付けてほしい。同様の要望は複数有り。

11 木を切るとき花芽は残してほしい。下草刈りも花を残してほしい。希少植物保護のためとロープを張っているが、珍しい花も刈り取られている。

12 土手の草を刈ると鳥の住処がなくなるのではないかと心配。

13. 主要工事実施記録（南部公園緑地事務所発注分）

・水道工事(配管更新･漏水点検等)　令和4年1月～令和4年3月

・園路改良工事(南門～大原谷戸池)　令和4年1月～令和4年3月

令和3年度 特定非営利活動法人 舞岡・やとひと未来 収支報告書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

[収益事業:指定管理事業]

R4.5.14

Ⅰ収入の部

科目			予算	実績	予算対比	備考
1	市からの経費		25,252,700	25,252,700	0	
2	事業収入		1,616,000	1,690,780	74,780	
	1)	古民家維持管理運営事業	0	0	0	
	2)	田んぼ里山維持管理運営事業	0	0	0	
	3)	伝承行事等農文化体験事業	600,000	161,900	-438,100	田植え、稲刈り、農芸、収穫祭収入等
	4)	生態系保全維持管理運営事業	26,000	2,000	-24,000	観察会参加費等
	5)	環境教育・人材育成事業	55,000	79,000	24,000	人材教育教材費等
	6)	資源活用事業	850,000	1,362,430	512,430	舞・小谷戸屋収入
	7)	広報活動事業	85,000	85,450	450	パンフ類・絵はがき、記念誌他
	8)	設備管理事業	0	0	0	
3	登録費		820,000	1,110,600	290,600	ボランティア登録費
4	寄付金等		300,000	267,595	-32,405	学校田支援 募金箱等
5	業務委託費		0	0	0	
6	雑収入		300	221,441	221,141	利息等
収入合計			27,989,000	28,543,116	554,116	

Ⅱ支出の部

科目			予算	実績	予算対比	備考
1	事業費		15,933,000	15,264,549	668,451	
	1)	古民家維持管理運営事業	2,000,000	2,002,517	-2,517	人件費(整理清掃、樹木管理他 年335日)
	2)	田んぼ里山維持管理運営事業	4,100,000	3,814,882	285,118	人件費(年間耕作指導・維持管理) 道具資材費等
	3)	伝承行事等農文化体験事業	1,500,000	1,135,025	364,975	人件費(体験講師、伝承行事関連)、道具資材、収穫祭
	4)	生態系保全維持管理運営事業	3,300,000	3,121,884	178,116	人件費(施設内全般維持管理、観察会他) 道具・原材料他
	5)	環境教育・人材育成事業	1,400,000	1,500,841	-100,841	人件費(教育機関年間体験、谷戸学校、他)
	6)	資源活用事業	180,000	212,105	-32,105	舞・小谷戸屋(人件費、その他諸経費)
	7)	広報活動事業	300,000	327,355	-27,355	通信年25,000部発行(ラベル、切手、紙、インク他)、人件費、HP等
	8)	設備管理事業	3,153,000	3,149,940	3,060	
		機械警備	1,056,000	1,056,330	-330	防犯・防災(小谷戸の里、瓜久保)
		浄化槽維持管理	349,000	348,480	520	法定検査含む
		門・トイレの開閉・巡回	1,688,000	1,686,000	2,000	365日朝夕
		水質検査費	10,000	8,970	1,030	井戸水
		ゴミ処分費	50,000	50,160	-160	
2	管理費		11,278,020	11,060,778	217,242	
	1)	人件費	7,500,000	7,163,749	336,251	理事長(860,000)、事務局長、事務局員
	2)	福利厚生費	1,210,000	1,260,558	-50,558	社会保険・労働保険
	3)	消耗品費	700,000	960,336	-260,336	消耗備品・消耗品等、紙、インク等
	4)	小破修繕費	100,000	3,353	96,647	少額修繕費、ペンキ、破損部品他
	5)	旅費交通費	20,000	9,560	10,440	出張交通費他
	6)	会議費	300,000	232,000	68,000	理事会・部門会議・指導会・事務局会議各交通費
	7)	調査研修費	20,000	9,279	10,721	スタッフ外部研修他
	8)	備品リース料	88,000	87,252	748	コピー機(リース)、AED(レンタル)
	9)	光熱費	30,000	26,261	3,739	プロパンガス
	10)	交際費	21,000	0	21,000	近隣お祝い、お土産他
	11)	支払報酬	370,000	377,625	-7,625	税理士、監査報酬
	12)	通信費	200,000	193,605	6,395	切手、IT関連他
	13)	保険	719,020	728,440	-9,420	
		火災保険	412,000	415,370	-3,370	古民家、納屋、水車小屋、瓜久保の家、水屋、トイレ他
		賠償保険	73,000	72,610	390	区域全般
		イベント保険	65,520	65,520	0	行事関連
		傷害保険	168,500	174,940	-6,440	現場講師
	14)	雑費	0	8,760	-8,760	両替手数料等
3	公課費		1,220,000	1,225,800	-5,800	消費税等
4	予備費		7,980	0	7,980	
支出合計			28,439,000	27,551,127	887,873	
収支差額(収益事業)			-450,000	991,989	1,441,989	